

# 平成29年度 英語力調査結果（中学3年生）の概要

## 1 調査の目的

中学3年生を対象に、英語の4技能（「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」）がバランスよく育成されているかという観点から、経年比較を含め、生徒の英語力を測定し、調査結果を学校での指導や生徒の学習状況の改善・充実に活用。

### 参考

「第2期教育振興基本計画」（平成25～29年度）に、グローバル人材の育成に向けた取組として、民間の資格・検定試験団体と連携した生徒の英語力の把握・検証による戦略的な英語教育改善の取組支援を提言。また、成果指標として、中学3年生、高校3年生の英語力の目標を設定。

「第2期教育振興基本計画」（平成25～29年度）における成果指標  
国際共通語としての英語力の向上

・学習指導要領に基づき達成される英語力の目標

（中学校卒業段階：英検3級程度以上、高等学校卒業段階：英検準2級程度～2級程度以上）を達成した中高校生の割合50%

## 2 調査の内容・対象

全国の中学3年生約6万人（国公立約600校）の英語力を調査。

- ・学習指導要領に基づき、全員を対象に3技能（「聞くこと」「読むこと」「書くこと」）試験を実施。
- ・「話すこと」は約2万人を調査（1校あたり1クラスを対象）。

生徒の英語学習状況や英語担当教員の指導状況を把握・分析（質問紙調査）。

- ・受験した生徒：英語学習に対する関心・意欲や授業内外における学習状況 など。
- ・調査実施対象校の英語担当教員：授業における指導や評価の状況 など。

学校の取組事例を調査。

- ・調査結果において特徴が見られた学校における取組内容の調査。

調査実施時期：平成29年6月末～7月中実施。

平成29年10月に生徒個人票返却、平成30年3月末を目途に結果をとりまとめ、公表。

## 3 調査の特徴

国による全国無作為抽出で行う4技能型試験の調査（平成27年度・平成28年度に続き、3年連続実施）。

現行学習指導要領で学んだ生徒の調査を実施。

世界標準となっているCEFR（Common European Framework of Reference for Languages：ヨーロッパ言語共通参照枠）のA1を中心にレベルを測定できるように設計（別紙参照）。

## 【度数分布】

# 1. 生徒全体の英語力の傾向

前年度同様、4技能のバランスに課題がある。

- ・CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）A1上位レベル以上の割合が「聞くこと（29.1%）」「話すこと（33.1%）」「読むこと（28.8%）」「書くこと（46.8%）」となった。
- ・前年度に比べて「聞くこと」「読むこと」は増加し、「話すこと」は微増。一方、目標の50%には、4技能すべて達していない。

特に、「書くこと」はA1レベル上位以上の割合が46.8%と高いが、一方で、無得点者が11.0%と前年度より4.6ポイント減少したものの、一定数いる状況である。

## 【生徒全体のスコア分布（公立）】

<聞くこと> 32問（約18分）

CEFR	得点	平成28年度		平成29年度	
		人数	割合	人数	割合
A2	170	27,896	2.9%	29,520	3.1%
A1上位	160	10,217	21.9%	11,649	26.0%
	150	15,507		18,167	
	140	22,757		26,266	
	130	33,699		41,454	
	120	51,863		61,767	
	110	79,316		89,054	
A1下位	100	118,197	75.3%	120,380	70.9%
	90	143,962		139,712	
	80	157,584		135,317	
	70	136,297		114,829	
	60	90,589		82,245	
	50	45,164		45,968	
	40	24,117		22,457	
	30	8,910		9,270	
	20	3,342		3,220	
	10	2,451		1,841	
0	3,243	2,285			
平均		93.8		96.3	
調査対象		975,109		955,399	

<読むこと> 28問（約32分）

CEFR	得点	平成28年度		平成29年度	
		人数	割合	人数	割合
A2	170	30,695	3.1%	31,506	3.3%
A1上位	160	9,511	22.2%	10,944	25.5%
	150	12,940		13,402	
	140	15,704		20,223	
	130	25,592		26,775	
	120	34,276		39,903	
	110	48,116		54,446	
A1下位	100	70,442	74.6%	78,262	71.2%
	90	103,405		103,729	
	80	131,231		130,088	
	70	144,072		136,273	
	60	127,703		117,412	
	50	93,587		88,808	
	40	65,584		55,597	
	30	38,398		29,055	
	20	14,236		10,951	
	10	7,628		6,582	
0	1,991	1,446			
平均		83.4		86.2	
調査対象		975,109		955,399	

<話すこと> 3問（対面約10分）

CEFR	得点	平成28年度		平成29年度	
		人数	割合	人数	割合
A1上位	14	12,402	31.2%	5,248	33.1%
	13	12,009		5,828	
	12	16,544		10,515	
	11	16,761		28,966	
	10	39,261		41,683	
A1下位	9	26,510	68.8%	23,255	66.9%
	8	28,916		24,340	
	7	31,462		26,363	
	6	34,432		27,463	
	5	28,813		0	
	4	0		24,642	
	3	28,105		19,561	
	2	12,930		0	
	1	11,762		21,471	
	0	11,167		19,672	
平均		6.7		5.8	
調査対象		311,073		279,009	
0点のみ		11,167	3.6%	19,672	7.1%

調査対象は都市規模と学校規模をもとに抽出を行った。調査結果は母集団に対する標本の抽出率に応じて抽出ウェイトをかけて集計を行っている。そのため、度数分布の各度数とアンケート回答人数は実際の被験者数とは異なる。

<書くこと> 2問（約25分）

CEFR	得点	平成28年度		平成29年度			
		人数	割合	人数	割合		
A2	95	0	0.1%	0	0.0%		
	90	0		0			
	85	0		0			
	80	0		0			
	75	110		0			
	70	1,115		21			
	65	4,108		223			
A1上位	60	28,972	50.7%	2,075	46.8%		
	55	45,208		57,417			
	50	90,202		71,717			
	45	88,413		100,668			
	40	26,993		100,145			
	35	112,148		116,360			
A1下位	30	93,467	49.2%	95,466	53.2%		
	25	44,480		98,889			
	20	31,539		63,919			
	15	71,686		35,038			
	10	86,749		56,828			
	5	0		50,296			
	0	152,977		108,638			
	平均			31.3			30.8
	調査対象			978,167			957,700
	0点のみ			152,977		15.6%	105,492

CEFRは、語学シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集、外国語運用能力評価のために、透明性が高く分かりやすい、包括的な基盤を提供するものとして、20年以上にわたる研究を経て、2001年に欧州評議会（Council of Europe）が発表した。欧州域内では、国により、CEFRの「共通参照レベル」が、初等・中等教育を通じた目標として適用されたり、言語能力に関する調査を実施するに当たって用いられたりしている。本調査では、便宜上A1～A2レベルまでを得点帯刻みに設定し分布を把握。

注）CEFRの「A1」は、CEFR-Jでは「A1.1」「A1.2」「A1.3」に分割される。本調査のCEFR閾値は、「Pre A1」「A1.1」を「A1下位」、「A1.2」「A1.3」を「A1上位」とした。

## 【質問紙調査の構成・結果概要】

# 2. 質問紙調査の構成と調査結果の概要

## 【生徒・教員・学校に対する質問紙調査の構成】

項目	内容	
生徒質問紙	英語学習に対する生徒の意識 ・英語学習への関心 ・英語を身に付け何をしたいか 英語使用に関する経験 英語資格・検定試験の受験経験	英語の学習方法・内容や学習時間 言語活動に対する生徒の意識 ・生徒同士で意見交換などを行っていたか 小学校外国語活動の経験
教員質問紙	授業における言語活動の指導に対する教員の意識 ・スピーチ、プレゼンテーションなどを行っていたか 英語の授業での英語の使用状況 生徒が英語の授業でコミュニケーション活動を行っている割合	校内外の研修会への参加状況 自分の英語力を向上させるための取組 英語の資格・検定試験の受験状況 小学校外国語活動の経験
学校質問紙	研修の実施状況 学校外研修の活用状況	言語活動に重点を置いた指導計画作成状況

## 【調査結果の概要】

### < 生徒の意識について >

「英語の学習が好きである」と回答した生徒は、前年度並で5割程度。

- ・得点が高い方が「英語の学習が好きである」と回答する割合が高い。特に、「話すこと」において顕著な傾向。
- ・「好きでない」と答えた理由は、「英語そのものが嫌い」「英語のテストで思うような点数がとれない」が多い。

身に付けたい英語力について、「話すこと」の得点が高い方が「英語を使って、国際社会で活躍できるようになりたい」「海外でのホームステイや語学研修を楽しめるようになりたい」など、将来の英語使用に対して高い目標を持つ傾向。

### 英語の授業における言語活動について

授業の中で「英語を聞いて、概要や要点をとらえる活動をしていた」と回答した生徒は75.2%で、対前年度1.4ポイント増加（平成28年度は73.8%）。

- ・「聞くこと」の得点が高い方が、この言語活動を「していた」と回答する割合が高い。

授業の中で「英語を読んで、概要や要点をとらえる活動をしていた」と回答した生徒は77.7%で、対前年度1.3ポイント増加（平成28年度は76.4%）。

- ・「読むこと」の得点が高い方が、この言語活動を「していた」と回答する割合が高い。

授業の中で「英語でスピーチやプレゼンテーションをしていた」と回答した生徒は63.3%で対前年度2.3ポイント増加（平成28年度は61.0%）。また、「与えられた話題について、即興で話す活動を行っていた」と回答した生徒は、51.9%で対前年度0.1ポイント減少（平成28年度は52.0%）。

- ・「話すこと」の得点が高い方が、これらの言語活動を「していた」と回答する割合が高い。

授業の中で「聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりしていた」と回答した生徒は64.9%で、対前年度1.5ポイント増加（平成28年度は63.4%）。

- ・「書くこと」の得点が高い方が、この言語活動を「していた」と回答する割合が高い。

### < 教員の意識について >

「生徒の英語力に関する学習到達目標について、CAN-DOリストの形で技能別に設定している」学校は62.3%で、対前年度16.6ポイント増加（平成28年度は45.7%）。

「聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったり」する「統合的な言語活動」を行っている教員は前年度より1.2ポイント増加したものの41.2%にとどまる（平成28年度は40.0%）。

- ・「統合的な言語活動」を行っている学校の方が、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」のすべてにおいて、得点が高い。

小学校で外国語活動を経験した中学校生徒は、「英語の音声に慣れ親しんでいる」「英語で活動を行うことに慣れている」などの成果。

小学校での外国語活動の経験を踏まえ、中学校では「外国語活動を踏まえた指導の工夫」「教員自身の、授業で英語を使うことに対する意識が一層高まった」などの変化。

現行の学習指導要領で示されている言語活動を行っている学校の方が、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」のすべてにおいて、得点が高い。

新学習指導要領（平成29年3月公示）では、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」の五つの領域について、互いの考えや気持ちなどを外国語で伝え合う対話的な言語活動をより一層充実することとしている。

### 3. 英語学習に対する生徒の意識

#### 生徒の英語学習に対する意識

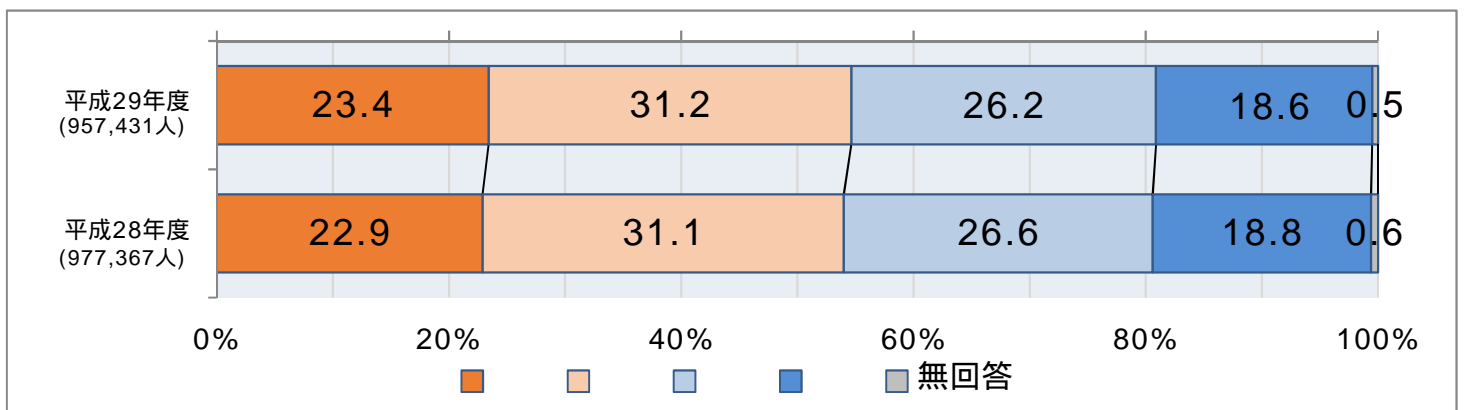
「英語の学習が好きである」と回答した生徒（選択肢 合計）は54.6%で、対前年度0.6ポイント増加（平成28年度は54.0%）。

「話すこと」「書くこと」の調査結果とのクロス集計を見ると、得点が高い方が「英語の学習が好きである」と回答する生徒の割合が高い。

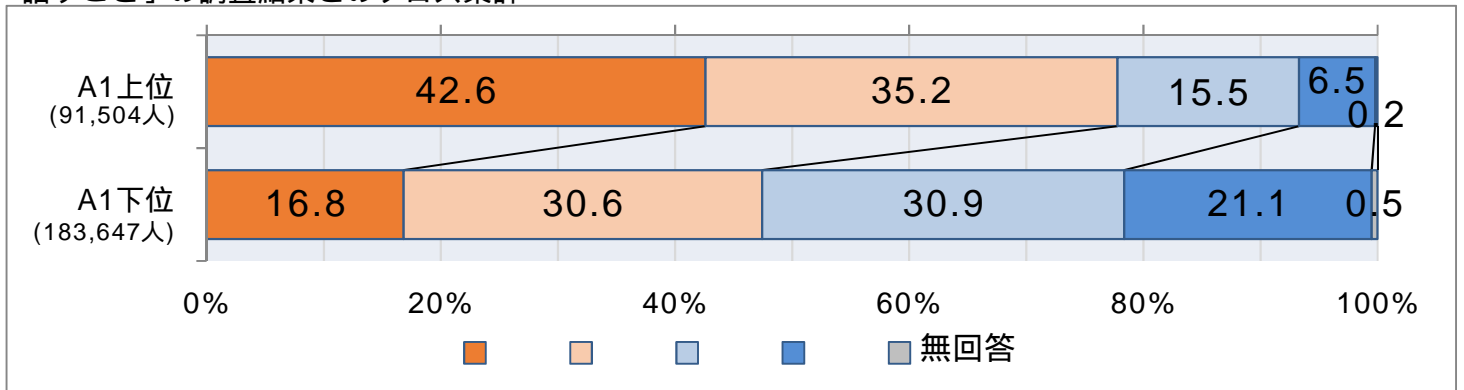
クロス集計については、4技能のうち「話すこと」「書くこと」を取り上げているが、他の技能についても同様の傾向が見られる。

問 英語の学習は好きですか。最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

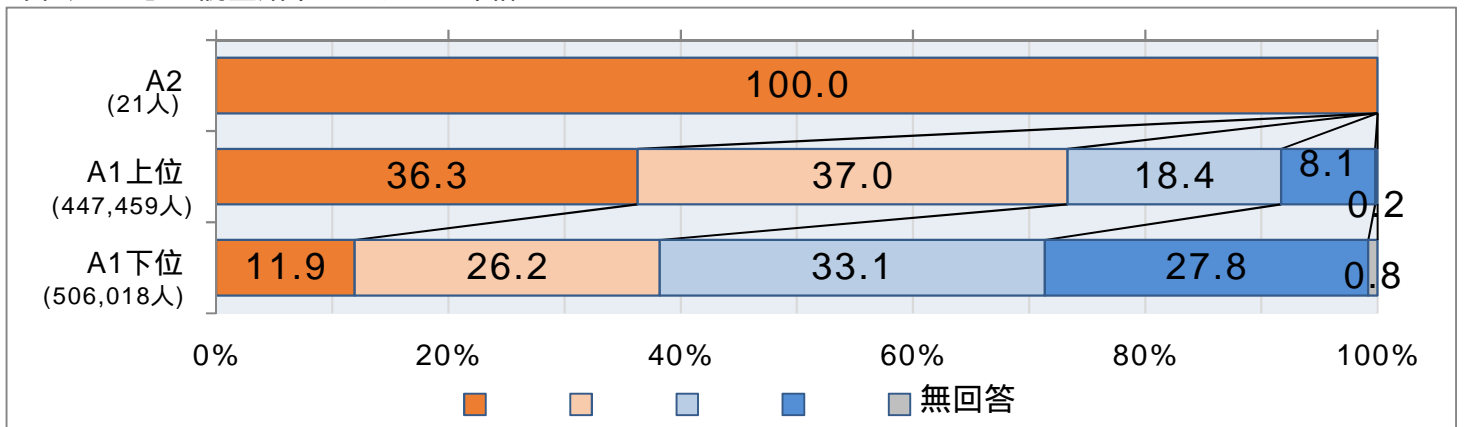
そう思う    どちらかといえば、そう思う    どちらかといえば、そう思わない    そう思わない



#### 「話すこと」の調査結果とのクロス集計



#### 「書くこと」の調査結果とのクロス集計



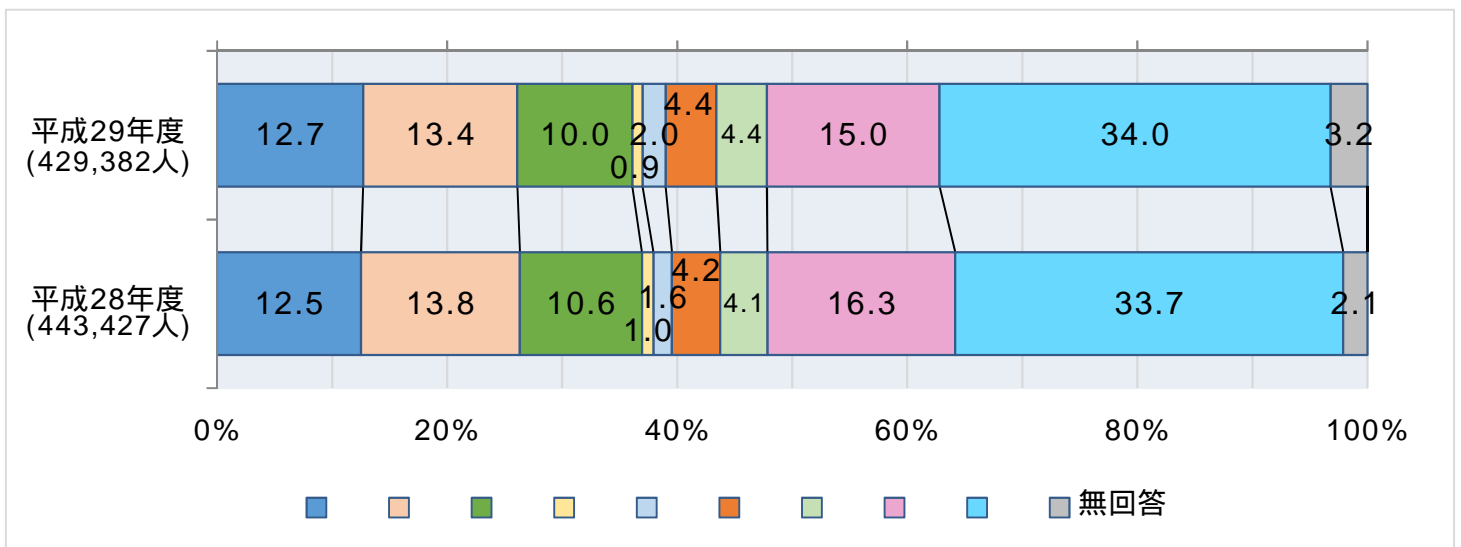
### 3. 英語学習に対する生徒の意識

#### 生徒の英語学習に対する意識

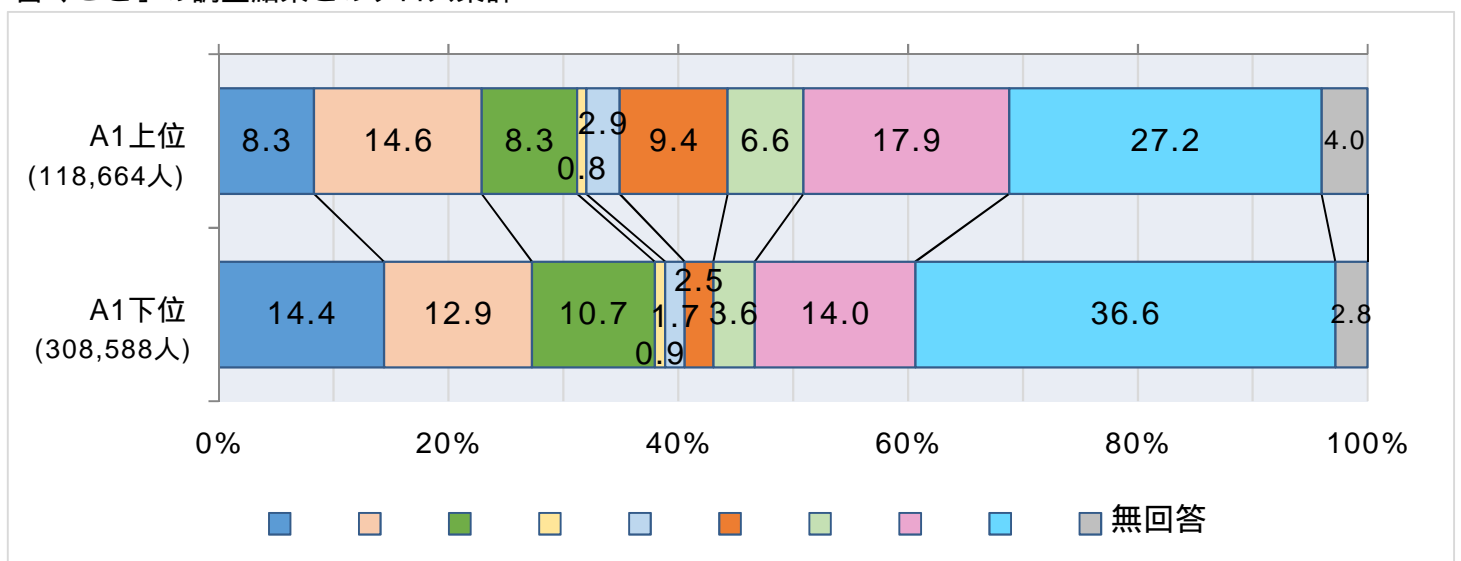
英語の学習が好きでない理由について、「英語そのものが嫌い」(34.0%)、「英語のテストで思うような点数がとれない」(15.0%)という回答が多い。  
 「書くこと」の調査結果とのクロス集計を見ると、得点が高い方が「英語そのものが嫌い」と回答する生徒の割合が低い。

問 (「英語の学習は好きですか」という問に「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」と回答した生徒のみ) その理由はなぜですか。当てはまるものを1つ選んで下さい。

- 単語のつづりや文字を覚えるのが難しい
- 文法が難しい
- 英語の文を書くのが難しい
- 英語の文を声に出して読むのが難しい
- 英語を話すのが難しい
- 英語を聞き取るのが難しい
- 英語を読み取るのが難しい
- 英語のテストで思うような点数がとれない
- 英語そのものが嫌い



#### 「書くこと」の調査結果とのクロス集計



### 3. 英語学習に対する生徒の意識

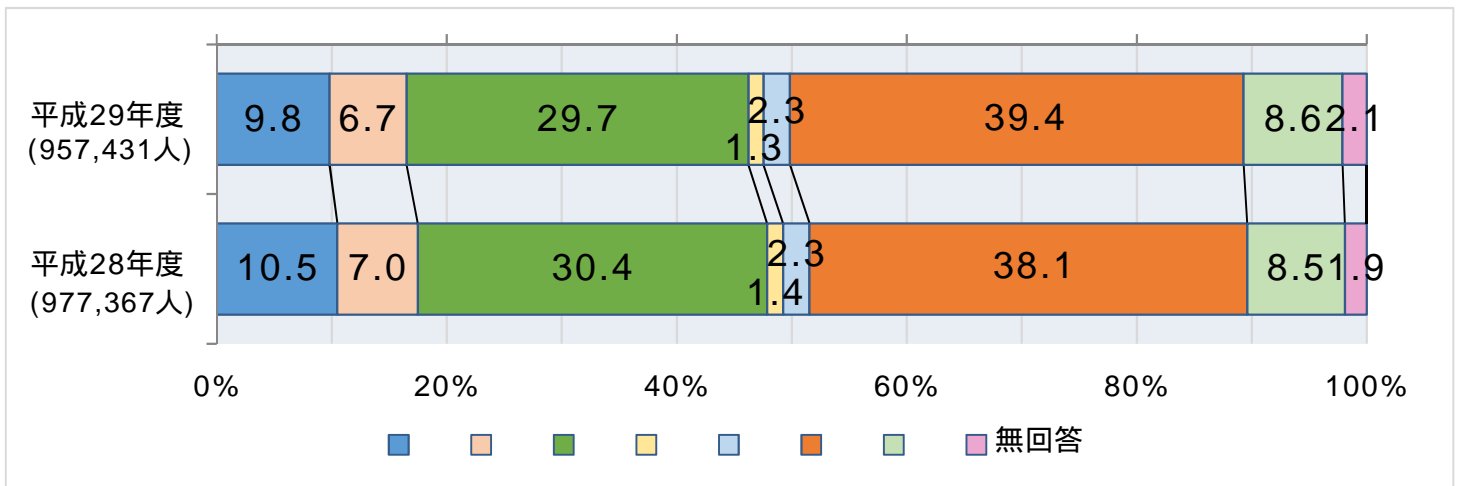
#### 現在の英語力と将来の英語使用のイメージ

身に付けたい英語力について、「高校入試に対応できる力を付けたい」(39.4%)、「海外旅行などをするときに、英語で日常的な会話をし、コミュニケーションを楽しめるようになりたい」(29.7%)という回答が多い。

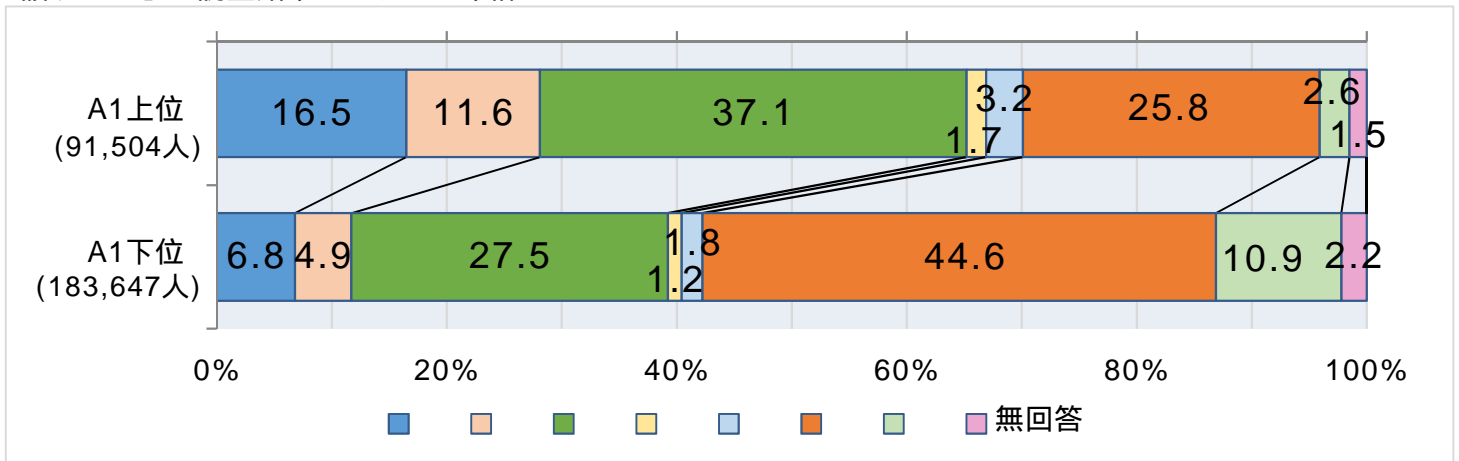
「話すこと」の調査結果とのクロス集計を見ると、得点が高い方が「英語を使って、国際社会で活躍できるようになりたい」、「海外でのホームステイや語学研修を楽しめるようになりたい」と回答する生徒の割合が高い。

問 どの程度まで英語を身に付けたいと思っていますか。最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

- 英語を使って、国際社会で活躍できるようになりたい
- 海外でのホームステイや語学研修を楽しめるようになりたい
- 海外旅行などをするときに、英語で日常的な会話をし、コミュニケーションを楽しめるようになりたい
- 高校卒業後に、海外の大学などに進学できるようになりたい
- 大学で自分が専攻する学問を英語で学べるようになりたい
- 高校入試に対応できる力を付けたい 特に学校の授業以外での利用を考えていない



#### 「話すこと」の調査結果とのクロス集計





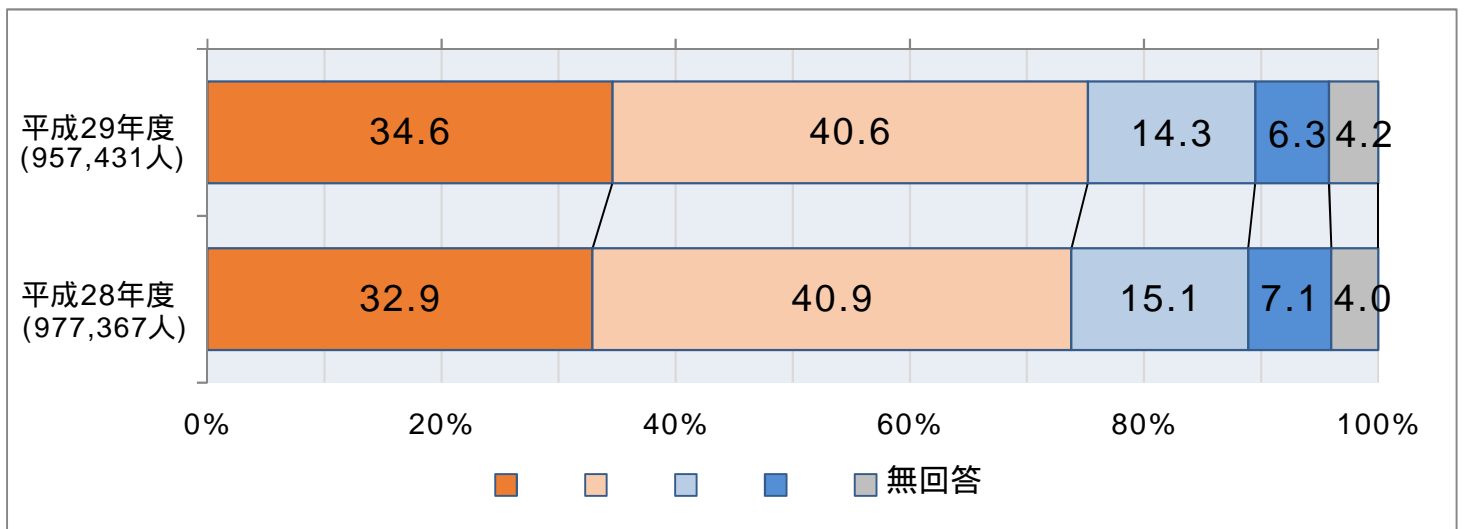
## 4 . 言語活動に対する生徒の意識

### 言語活動に対する生徒の意識「聞くこと」

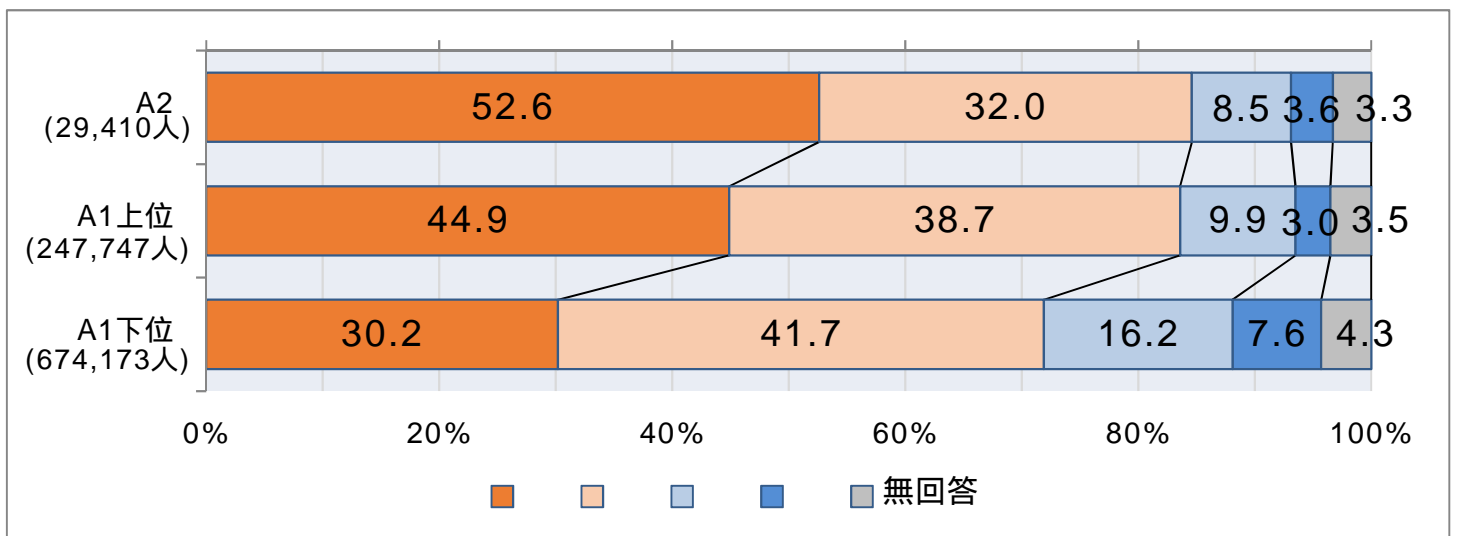
「英語を聞いて、（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をしていた」と回答した生徒（選択肢 合計）は75.2%で、対前年度1.4ポイント増加（平成28年度は73.8%）。  
 「聞くこと」の調査結果とのクロス集計を見ると、得点が高い方が「英語を聞いて、（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をしていた」と回答する生徒の割合が高い。

問 第2学年での英語の授業では、英語を聞いて、  
 （一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をしていましたか。

そう思う    どちらかといえば、そう思う    どちらかといえば、そう思わない    そう思わない



### 「聞くこと」の調査結果とのクロス集計



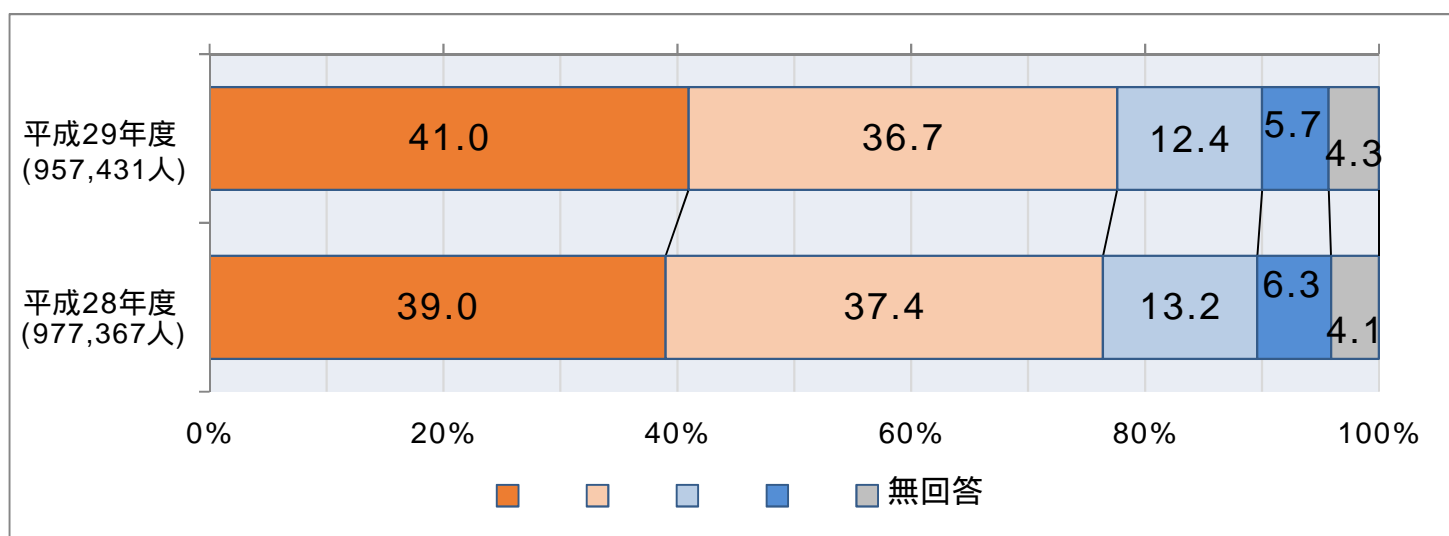
## 4. 言語活動に対する生徒の意識

### 言語活動に対する生徒の意識「読むこと」

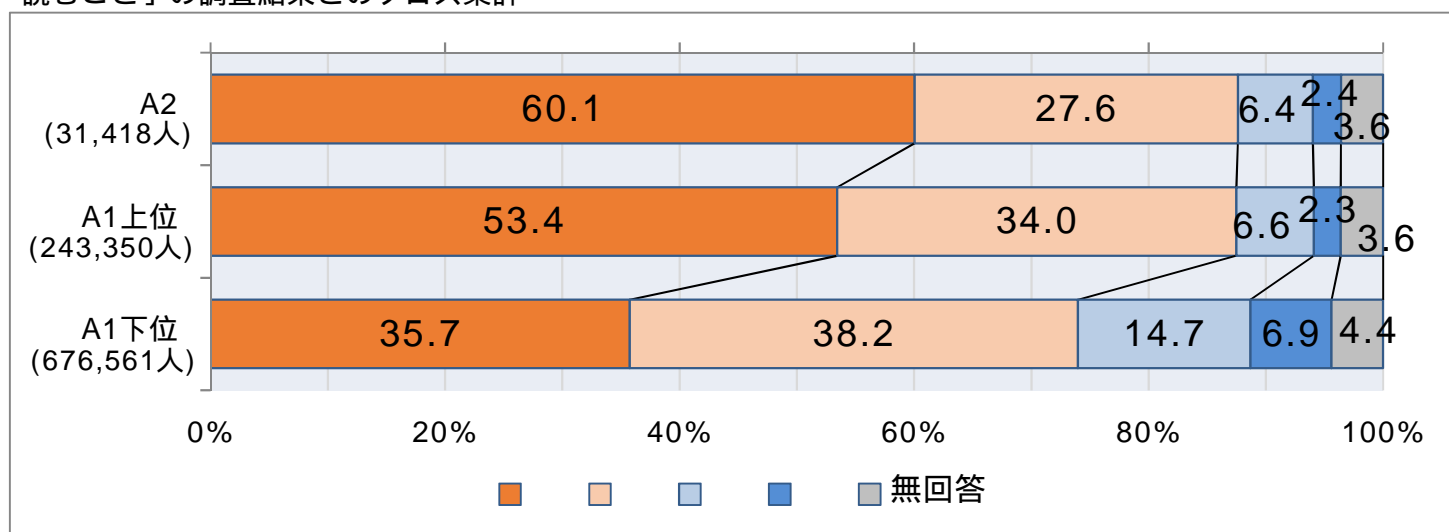
「英語を読んで、（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をしていた」と回答した生徒（選択肢 合計）は77.7%で、対前年度1.3ポイント増加（平成28年度は76.4%）。  
 「読むこと」の調査結果とのクロス集計を見ると、得点が高い方が「英語を読んで、（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をしていた」と回答する生徒の割合が高い。

問 第2学年での英語の授業では、英語を読んで、  
 （一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をしていましたか。

そう思う    どちらかといえば、そう思う    どちらかといえば、そう思わない    そう思わない



### 「読むこと」の調査結果とのクロス集計





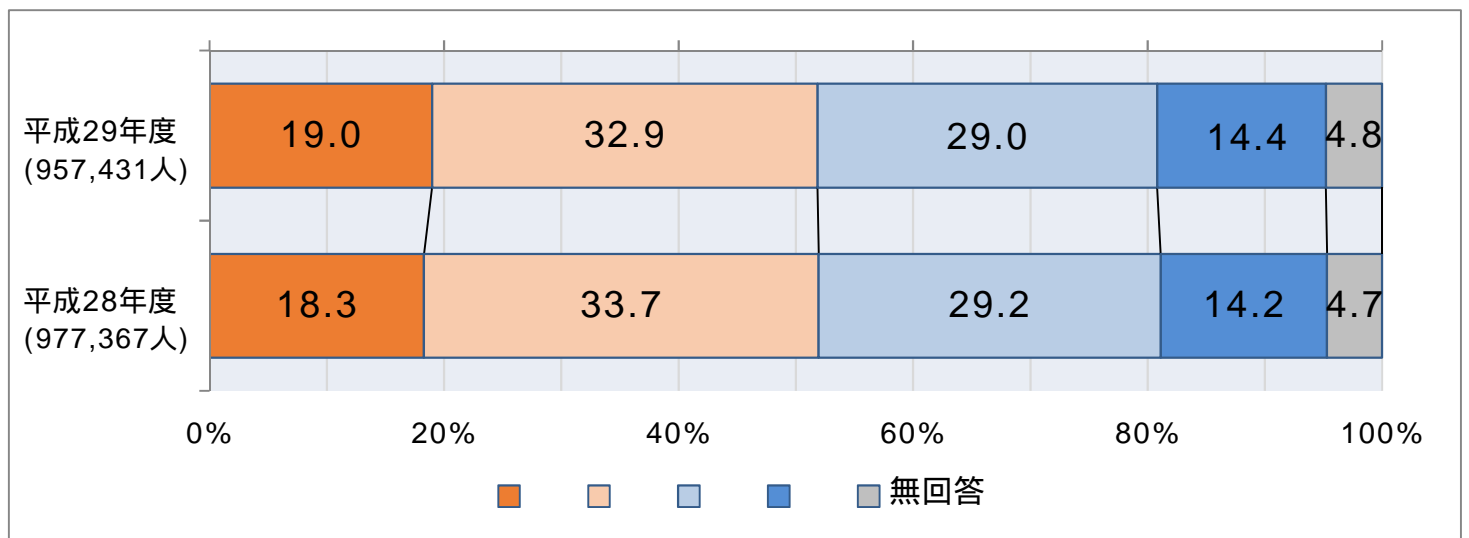
## 4 . 言語活動に対する生徒の意識

### 言語活動に対する生徒の意識「話すこと」

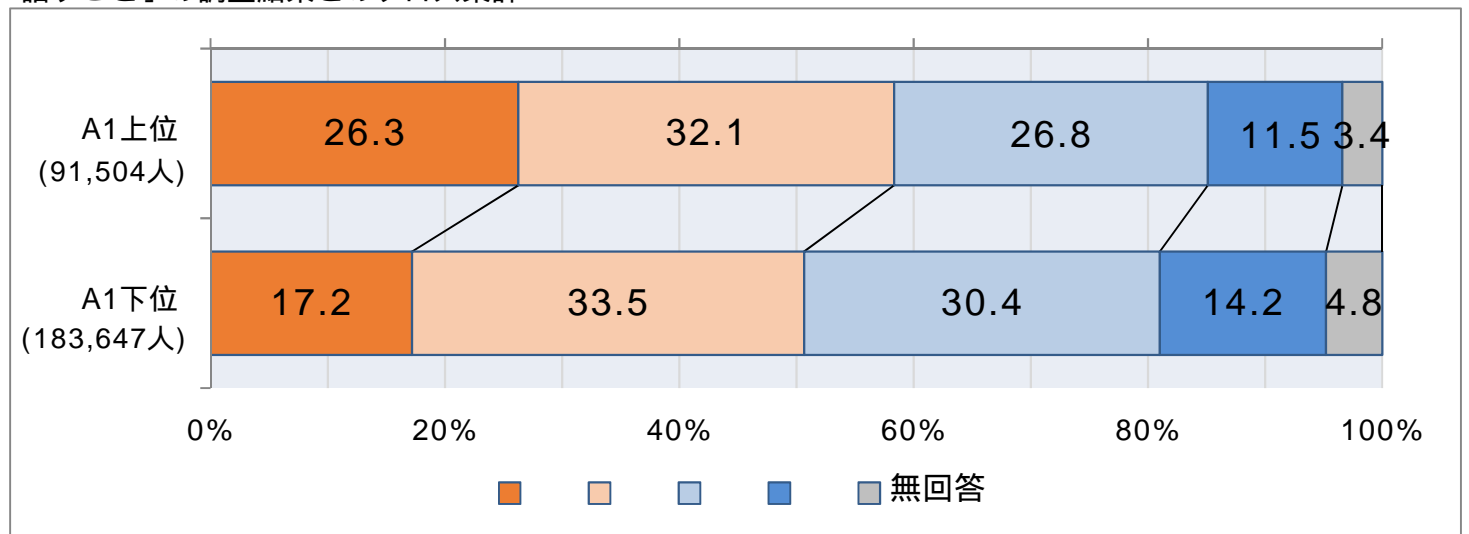
「与えられた話題について、（特に準備をすることなく）即興で話す活動をしていた」と回答した生徒（選択肢 合計）は51.9%で、前年度とほぼ同様（平成28年度は52.0%）。  
 「話すこと」の調査結果とのクロス集計を見ると、得点が高い方が「与えられた話題について、（特に準備をすることなく）即興で話す活動をしていた」と回答する生徒の割合が高い。

問 第2学年での英語の授業では、与えられた話題について、  
 （特に準備をすることなく）即興で話す活動をしていましたか。

そう思う    どちらかといえば、そう思う    どちらかといえば、そう思わない    そう思わない



### 「話すこと」の調査結果とのクロス集計



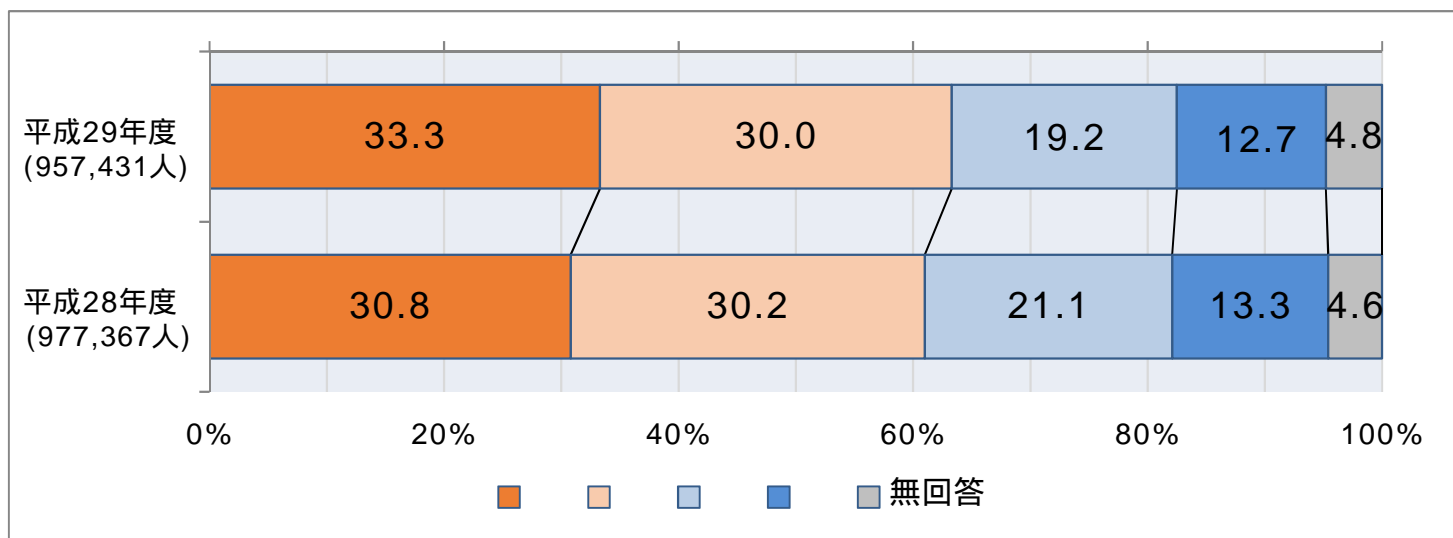
## 4. 言語活動に対する生徒の意識

### 言語活動に対する生徒の意識「話すこと」

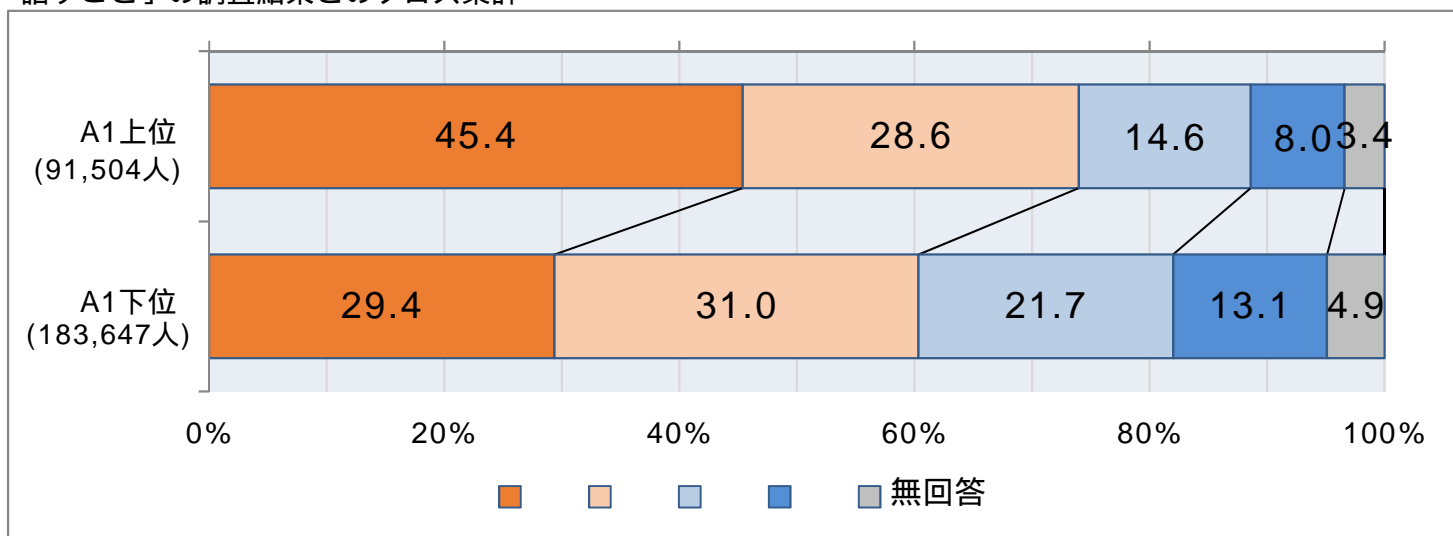
「英語でスピーチやプレゼンテーションをしていた」と回答した生徒（選択肢 合計）は63.3%で、対前年度2.3ポイント増加（平成28年度は61.0%）。  
 「話すこと」の調査結果とのクロス集計を見ると、得点が高い方が「英語でスピーチやプレゼンテーションをしていた」と回答する生徒の割合が高い。

問 第2学年での英語の授業では、英語でスピーチやプレゼンテーションをしていたと思いますか。

そう思う    どちらかといえば、そう思う    どちらかといえば、そう思わない    そう思わない



### 「話すこと」の調査結果とのクロス集計



## 4. 言語活動に対する生徒の意識

### 言語活動に対する生徒の意識

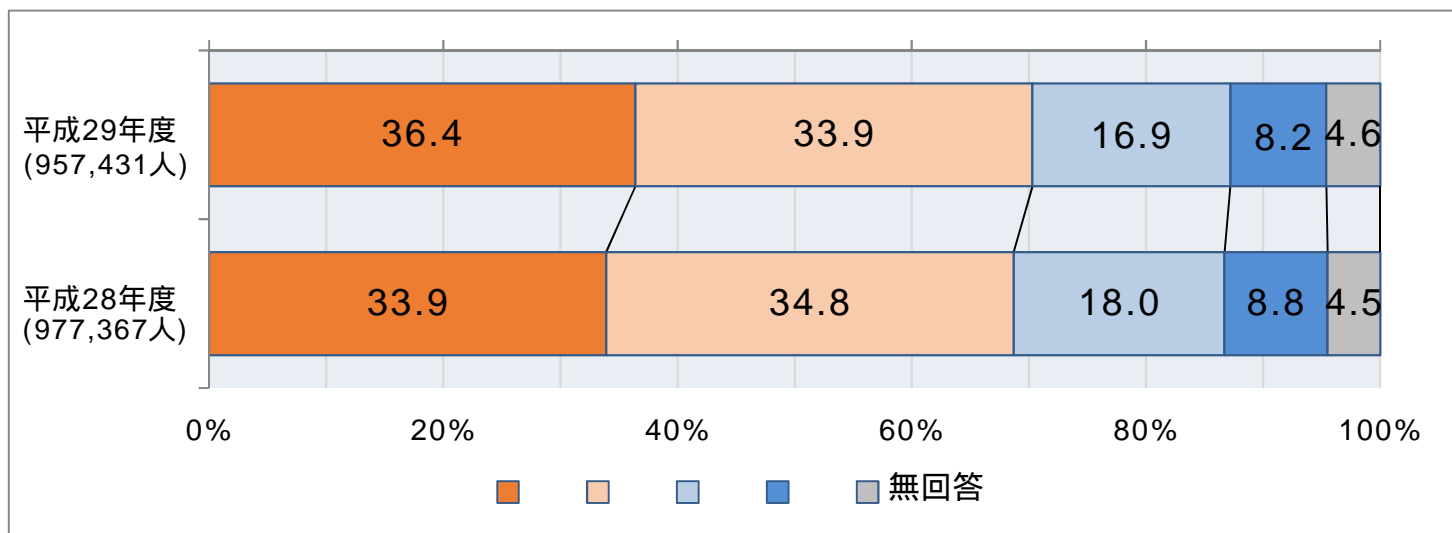
技能統合型：「聞くこと」「読むこと」「話すこと」

「聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりしていた」と回答した生徒（選択肢 合計）は70.3%で、対前年度1.6ポイント増加（平成28年度は68.7%）。

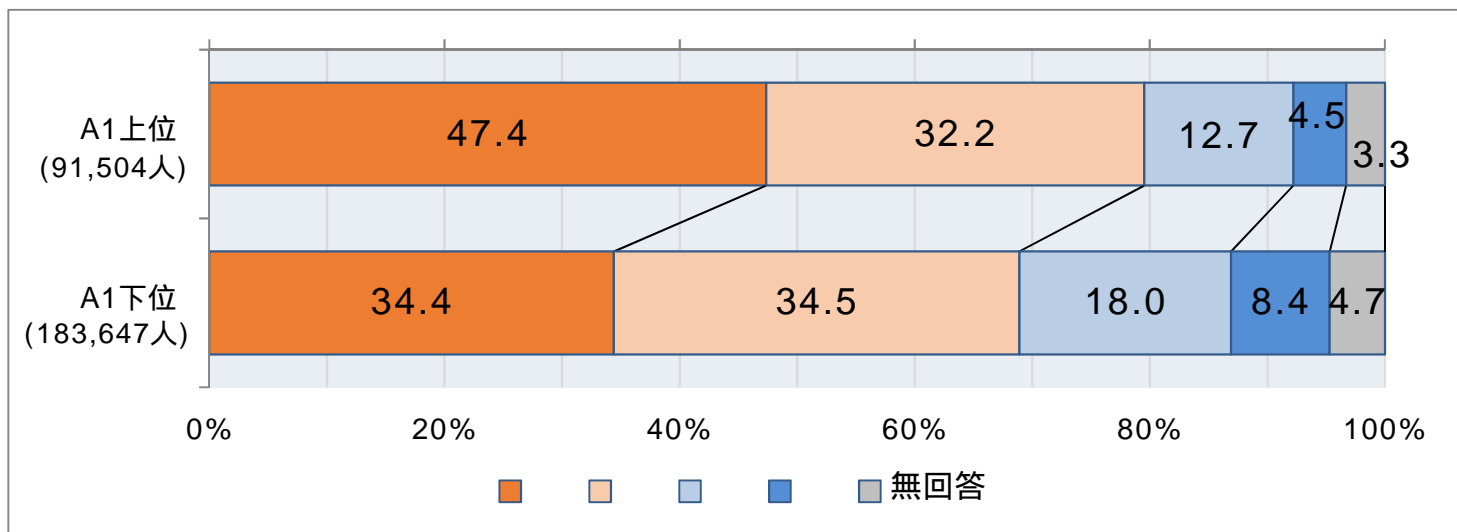
「話すこと」の調査結果とのクロス集計を見ると、得点が高い方が「聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりしていた」と回答する生徒の割合が高い。

問 第2学年での英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりしていたと思いますか。

そう思う    どちらかといえば、そう思う    どちらかといえば、そう思わない    そう思わない



「話すこと」の調査結果とのクロス集計



## 4. 言語活動に対する生徒の意識

### 言語活動に対する生徒の意識

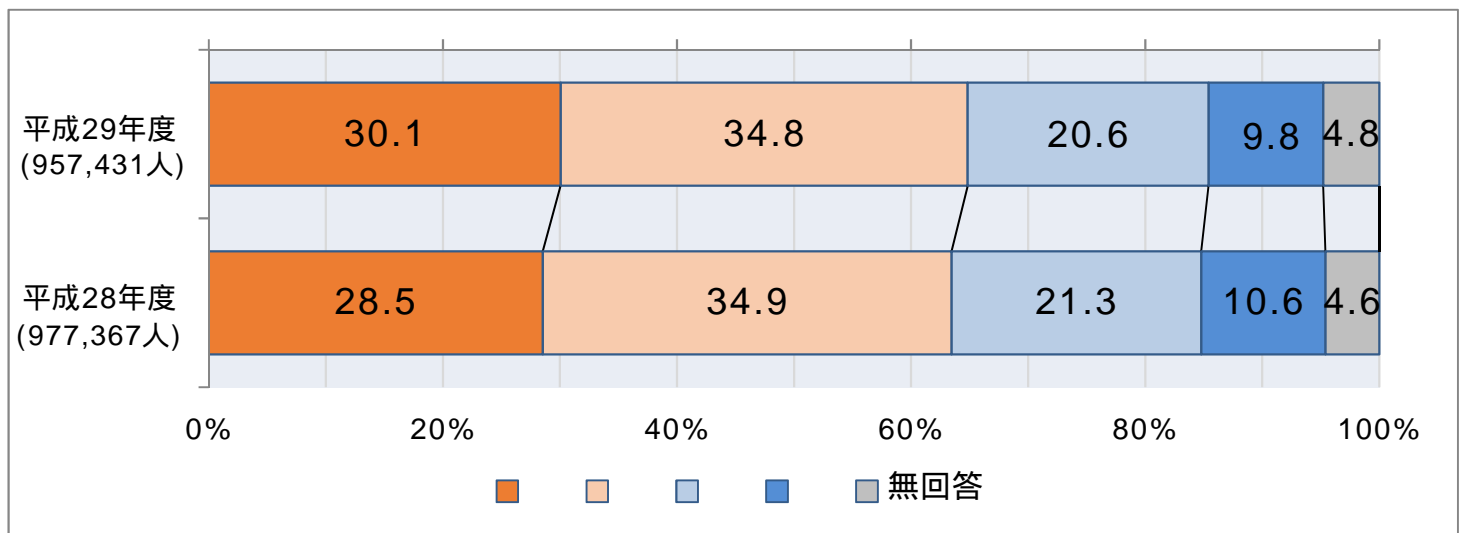
技能統合型：「聞くこと」「読むこと」「書くこと」

「聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりしていた」と回答した生徒（選択肢 合計）は64.9%で、対前年度1.5ポイント増加（平成28年度は63.4%）。

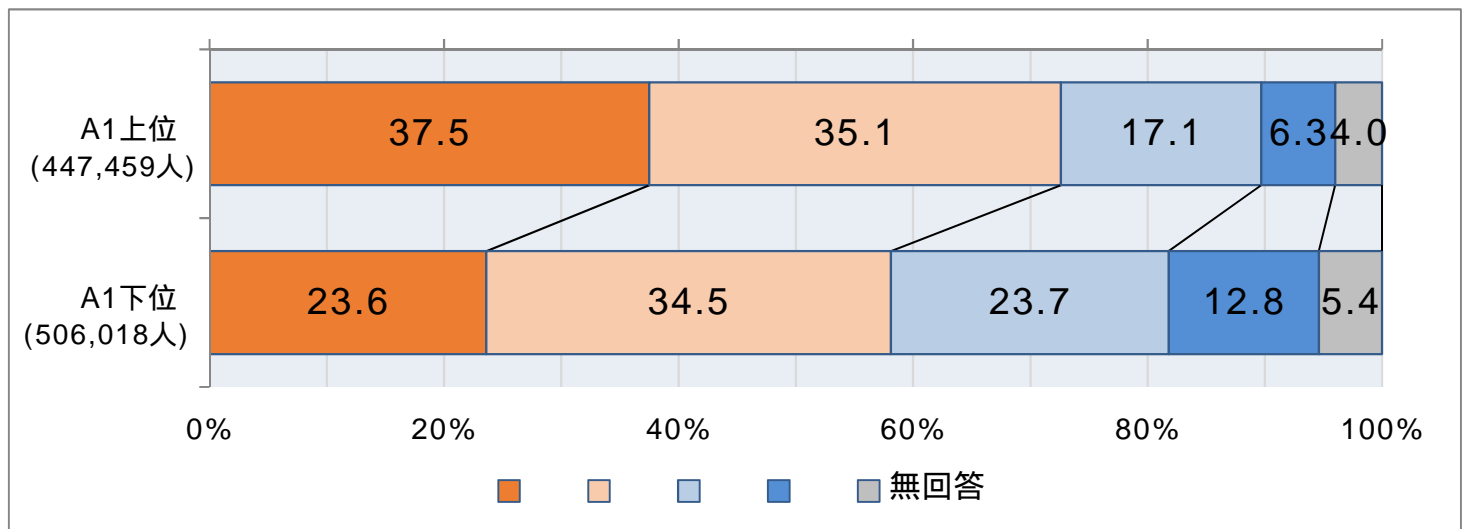
「書くこと」の調査結果とのクロス集計を見ると、得点が高い方が「聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりしていた」と回答する生徒の割合が高い。

問 第2学年での英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりしていたと思いますか。

そう思う    どちらかといえば、そう思う    どちらかといえば、そう思わない    そう思わない



### 「書くこと」の調査結果とのクロス集計



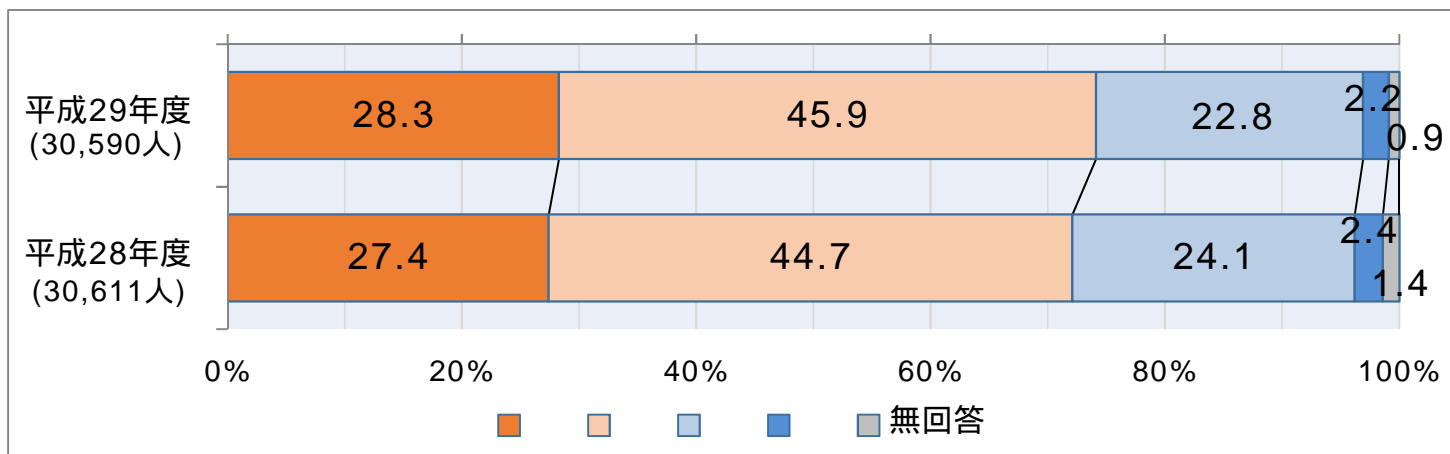
## 5. 授業における言語活動の指導に対する教員の意識

### 授業における言語活動の指導「聞くこと」

英語の授業で「まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る活動」を行っている教員（選択肢 合計）は74.2%で、対前年度2.1ポイント増加（平成28年度は72.1%）。

問 まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る活動を行っていますか。

よくしている    どちらかといえば、している    あまりしていない    ほとんどしていない

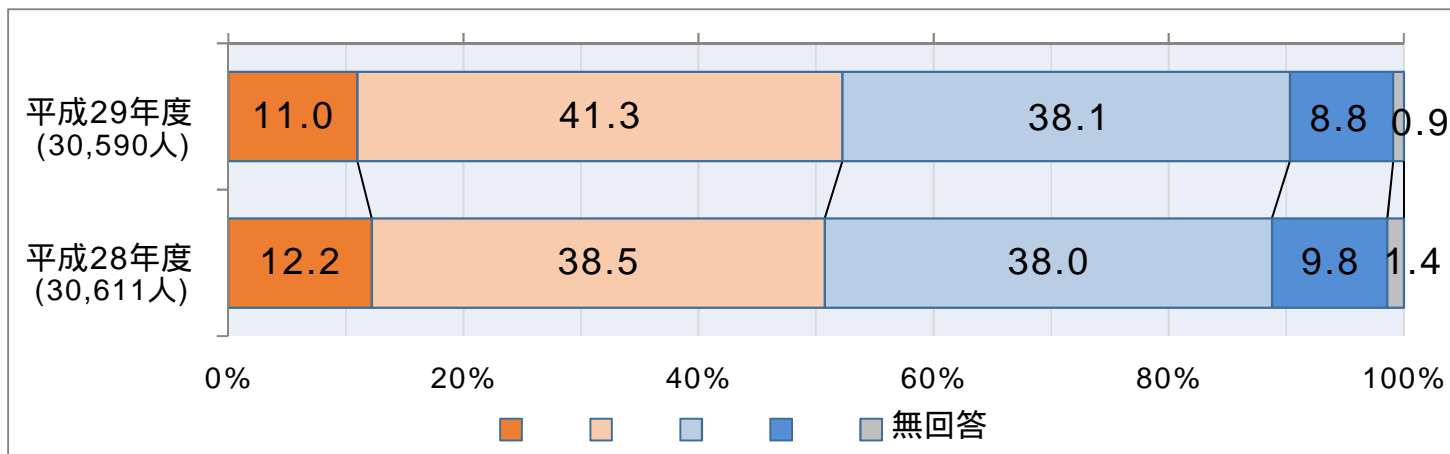


### 授業における言語活動の指導「読むこと」

英語の授業で「伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じる活動」を行っている教員（選択肢 合計）は52.3%で、対前年度1.6ポイント増加（平成28年度は50.7%）。

問 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じる活動を行っていますか。

よくしている    どちらかといえば、している    あまりしていない    ほとんどしていない



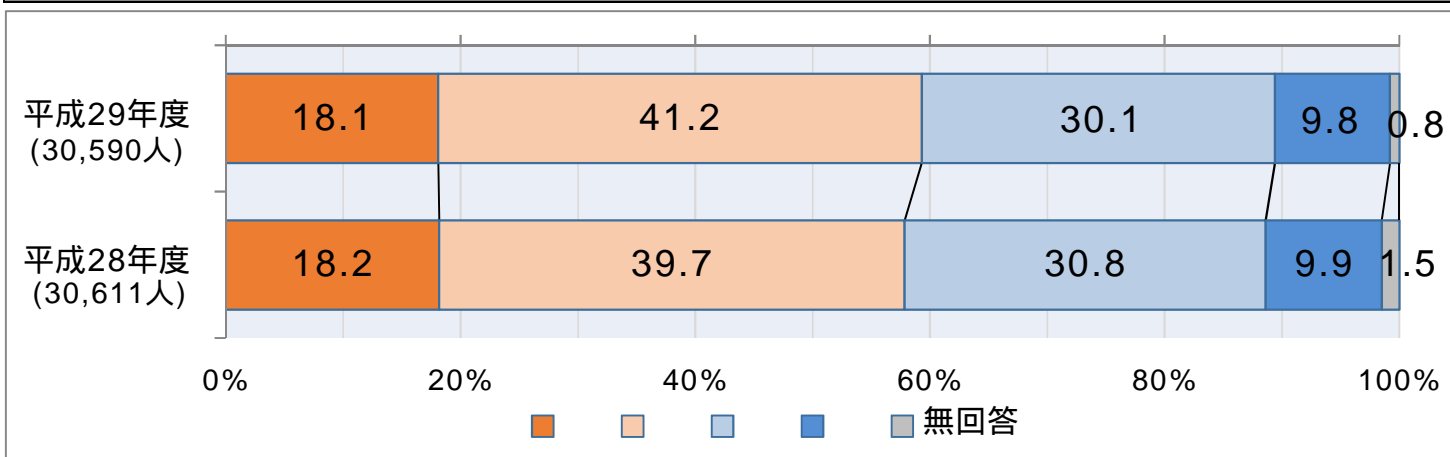
## 5. 授業における言語活動の指導に対する教員の意識

### 授業における言語活動の指導「話すこと」

英語の授業で「与えられたテーマについて簡単なスピーチをする活動」を行っている」と回答した教員（選択肢 合計）は59.3%で、対前年度1.4ポイント増加（平成28年度は57.9%）。

問 与えられたテーマについて簡単なスピーチをする活動を行っていますか。

よくしている    どちらかといえば、している    あまりしていない    ほとんどしていない

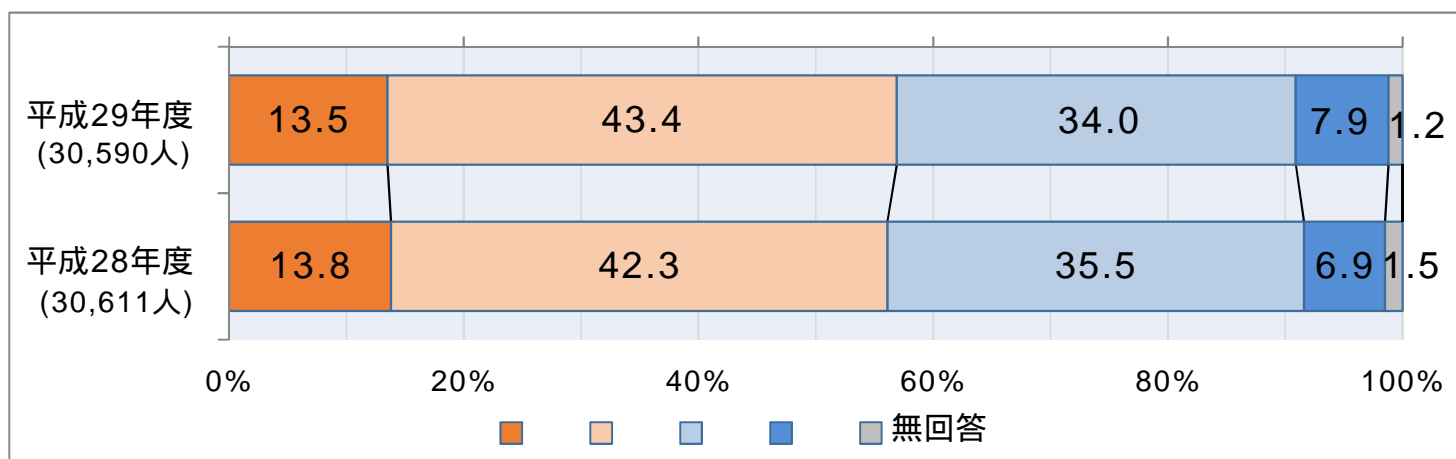


### 授業における言語活動の指導「書くこと」

英語の授業で「自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書く活動」を行っている」と回答した教員（選択肢 合計）は56.9%で、対前年度0.8ポイント増加（平成28年度は56.1%）。

問 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書く活動を行っていますか。

よくしている    どちらかといえば、している    あまりしていない    ほとんどしていない





## 5. 授業における言語活動の指導に対する教員の意識

### 授業における言語活動の指導

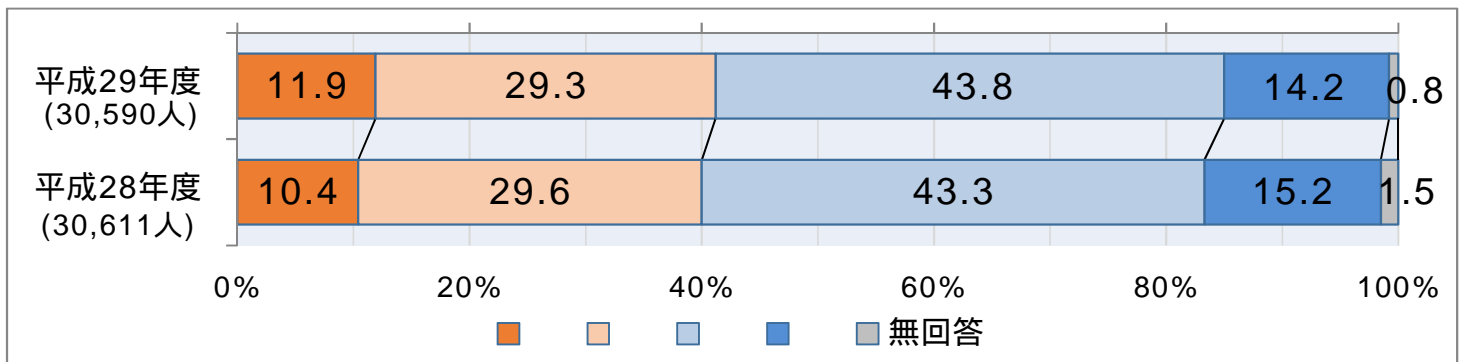
技能統合型：「聞くこと」「読むこと」「話すこと」

英語の授業で「聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどする活動」を行っている」と回答した教員（選択肢 合計）は41.2%で、対前年度1.2ポイント増加（平成28年度は40.0%）。

生徒の調査結果とのクロス集計を見ると、「聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどする活動」を行っている」と回答した教員の割合が多い学校の方が、「話すこと」だけでなく「聞くこと」「読むこと」についても生徒の得点が高い。

問 聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどする活動を行っていますか。

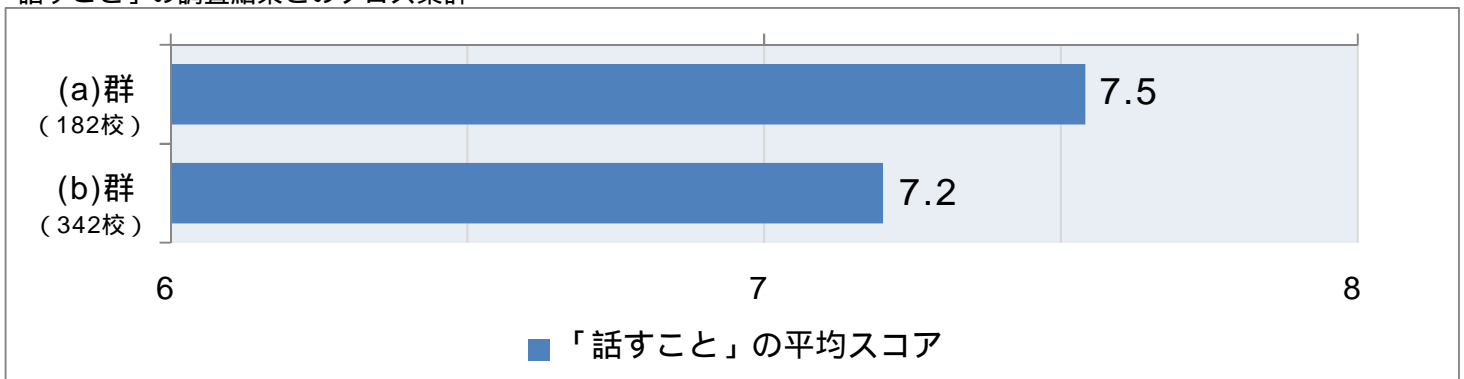
よくしている      どちらかといえば、している      あまりしていない      ほとんどしていない



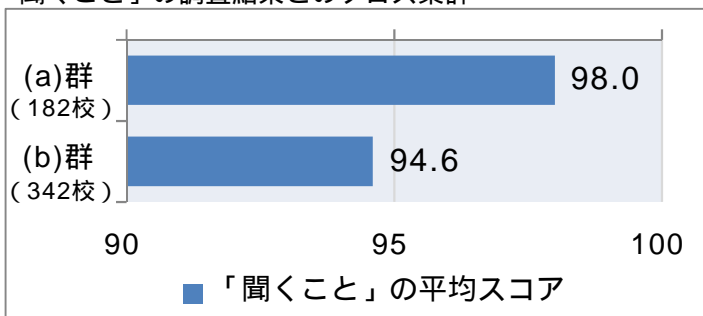
### (a)群と(b)群の調査結果とのクロス集計

- ・ (a)群 ... 「聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどする活動」を行っている」と回答した教員（選択肢 合計）が50%以上の学校
- ・ (b)群 ... (a)以外の学校

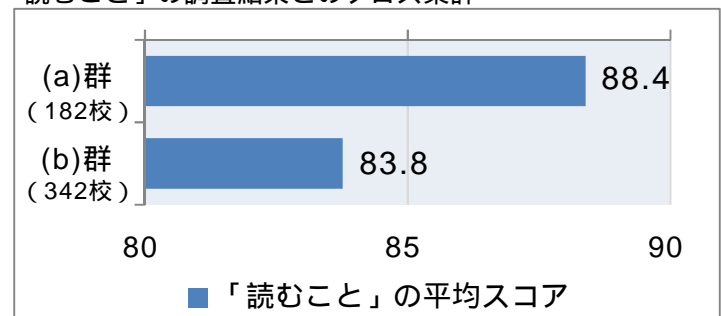
### 「話すこと」の調査結果とのクロス集計



### 「聞くこと」の調査結果とのクロス集計



### 「読むこと」の調査結果とのクロス集計



## 5. 授業における言語活動の指導に対する教員の意識

### 授業における言語活動の指導

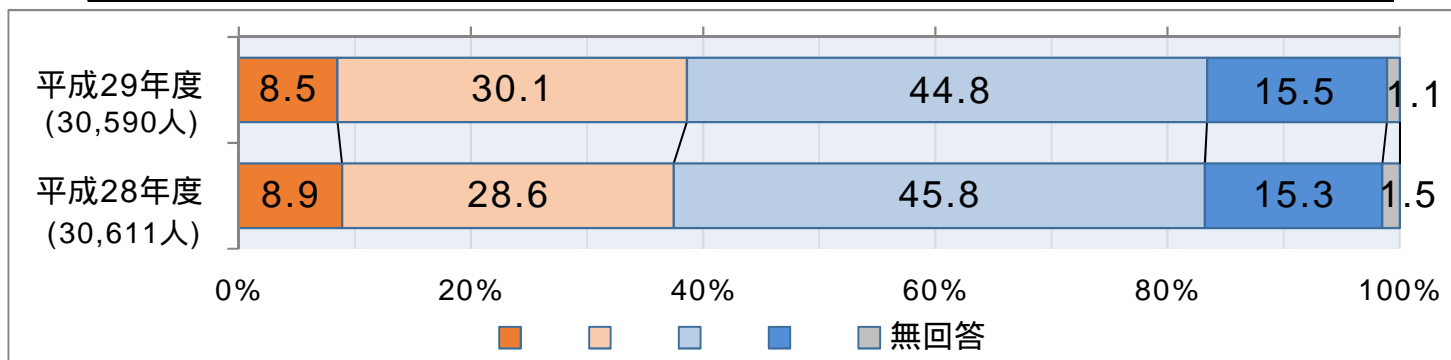
技能統合型：「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」

英語の授業で「話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえる活動」を行っている」と回答した教員（選択肢 合計）は38.6%で、対前年度1.1ポイント増加（平成28年度は37.5%）。

生徒の調査結果とのクロス集計を見ると、「話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえる活動」を行っている」と回答した教員の割合が多い学校の方が、「話すこと」「書くこと」だけでなく「聞くこと」「読むこと」についても生徒の得点が高い。

問 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえる活動を行っていますか。

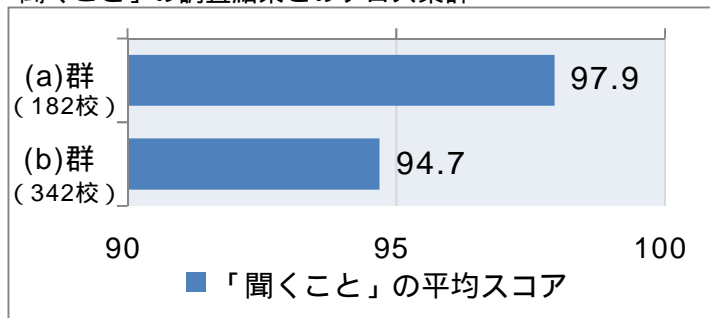
よくしている      どちらかといえば、している      あまりしていない      ほとんどしていない



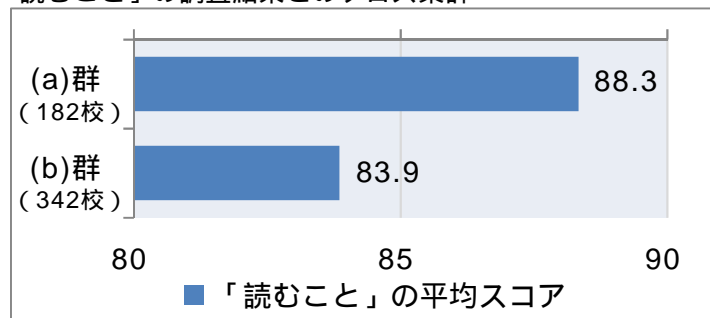
### (a)群と(b)群の調査結果とのクロス集計

- ・ (a)群 ... 「話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえる活動」を行っている」と回答した教員（選択肢 合計）が50%以上の学校
- ・ (b)群 ... (a)以外の学校

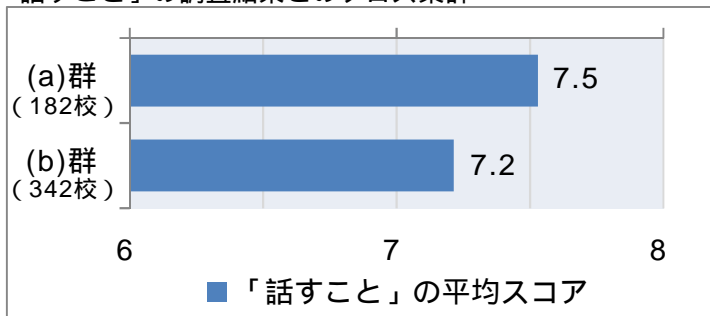
#### 「聞くこと」の調査結果とのクロス集計



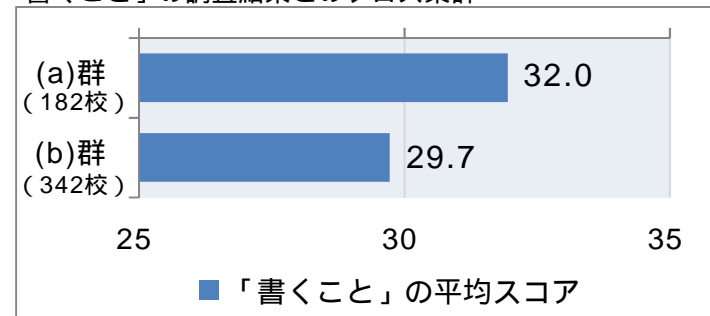
#### 「読むこと」の調査結果とのクロス集計



#### 「話すこと」の調査結果とのクロス集計



#### 「書くこと」の調査結果とのクロス集計



## 5. 授業における言語活動の指導に対する教員の意識

### 授業における言語活動の指導

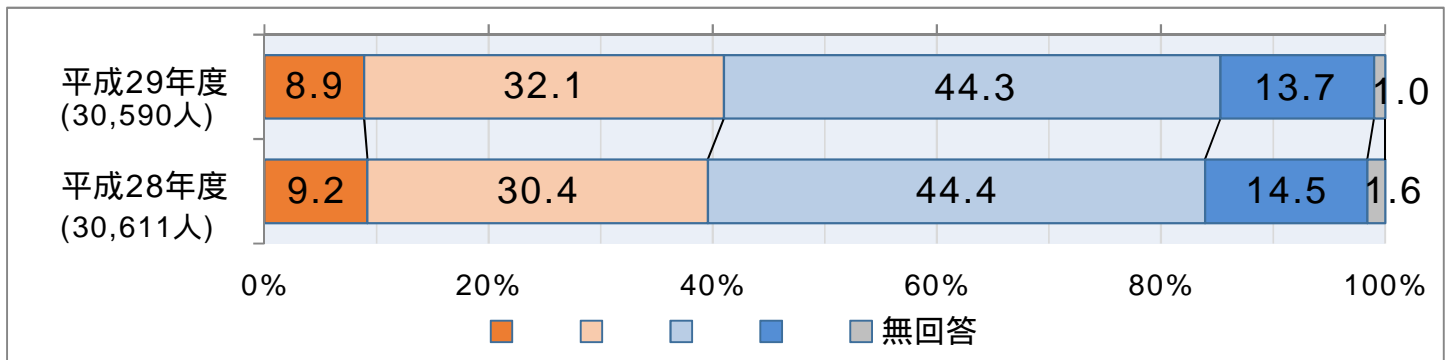
技能統合型：「聞くこと」「読むこと」「書くこと」

英語の授業で「聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどする活動」を行っている」と回答した教員（選択肢 合計）は41.0%で、対前年度1.4ポイント増加（平成28年度は39.6%）。

生徒の調査結果とのクロス集計を見ると、「聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどする活動」を行っている」と回答した教員の割合が多い学校の方が、「書くこと」だけでなく「聞くこと」「読むこと」の生徒の得点が高い。

問 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどする活動を行っていますか。

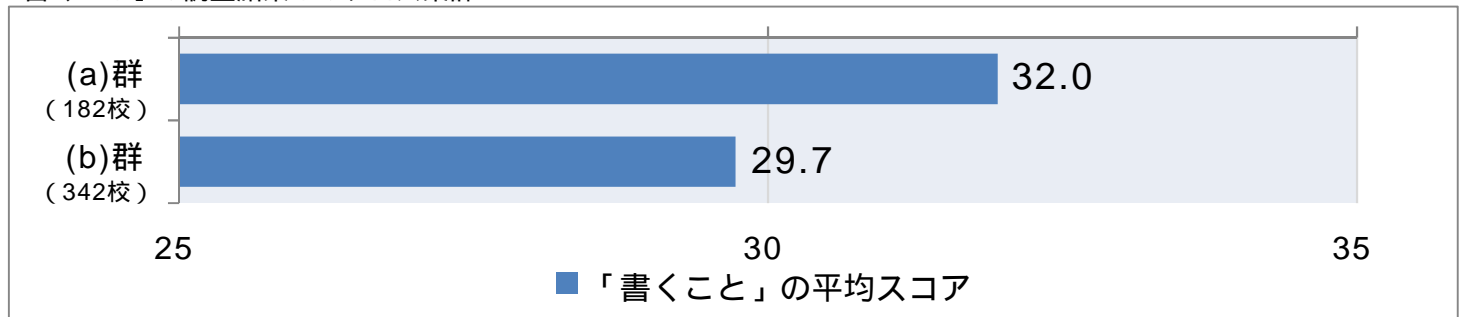
よくしている    どちらかといえば、している    あまりしていない    ほとんどしていない



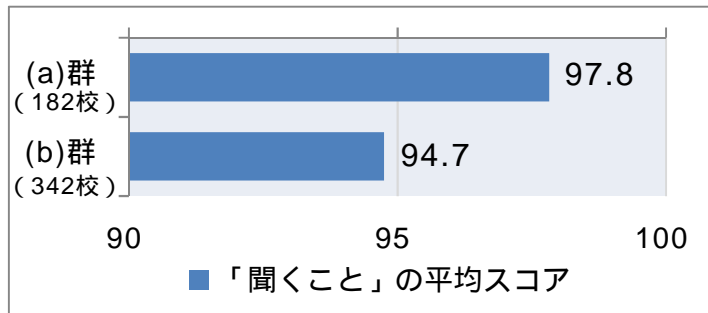
### (a)群と(b)群の調査結果とのクロス集計

- ・ (a)群 ... 「聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどする活動」を行っている」と回答した教員（選択肢 合計）が50%以上の学校
- ・ (b)群 ... (a)以外の学校

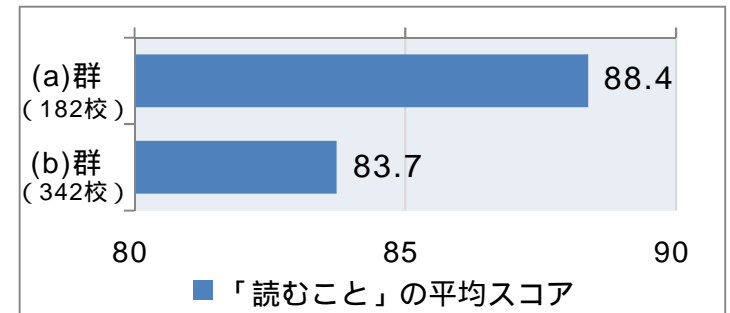
### 「書くこと」の調査結果とのクロス集計



### 「聞くこと」の調査結果とのクロス集計



### 「読むこと」の調査結果とのクロス集計



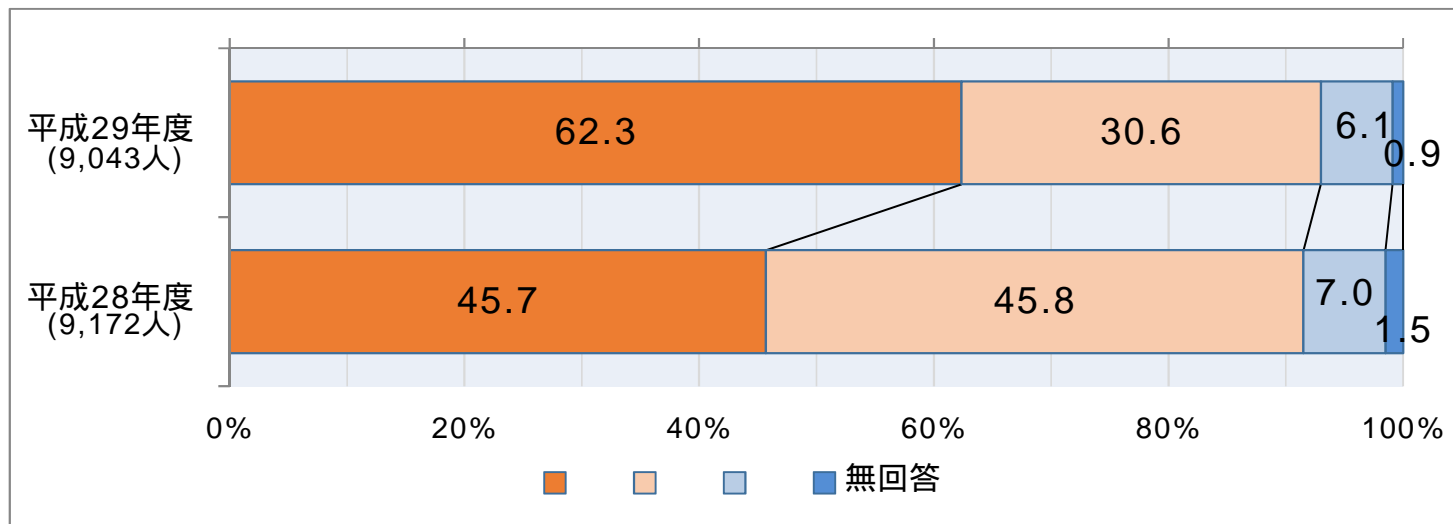
## 6. 生徒の英語力に関する学習到達目標の設定状況

### CAN-DOリストの形での目標設定

「生徒の英語力に関する学習到達目標について、CAN-DOリストの形で技能別に設定している」学校（選択肢）は62.3%で、対前年度16.6ポイント増加（平成28年度は45.7%）。

問 生徒の英語力に関する学習到達目標について、CAN-DOリストの形で技能別に設定していますか。

設定している    今は設定していないが、今後設定する予定である    設定しておらず、今後も設定する予定がない



## 7. 小学校外国語活動の経験

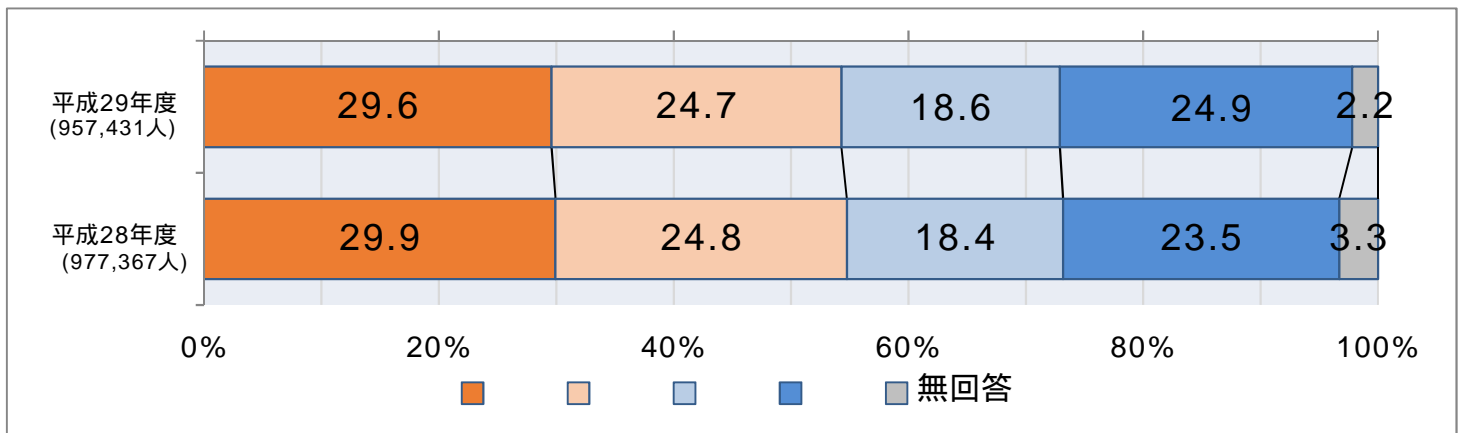
### 小学校での英語学習に対する生徒の意識

「小学生の時、英語が好きだと思っていた」と回答した生徒（選択肢 合計）は54.3%で、対前年度0.4ポイント減少（平成28年度は54.7%）。  
 「聞くこと」「話すこと」の調査結果とのクロス集計を見ると、得点が高い方が「小学生の時、英語が好きだと思っていた」と回答する生徒の割合が高い。

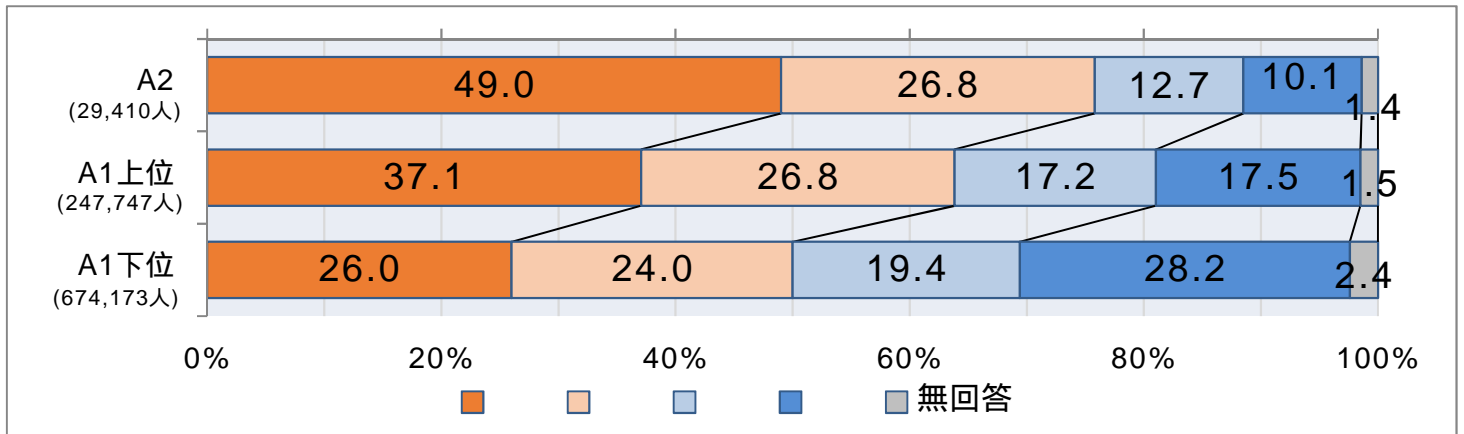
クロス集計については、4技能のうち「聞くこと」「話すこと」を取り上げているが、他の技能についても同様の傾向が見られる。

問 小学生の時、あなたは、英語が好きでしたか。最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

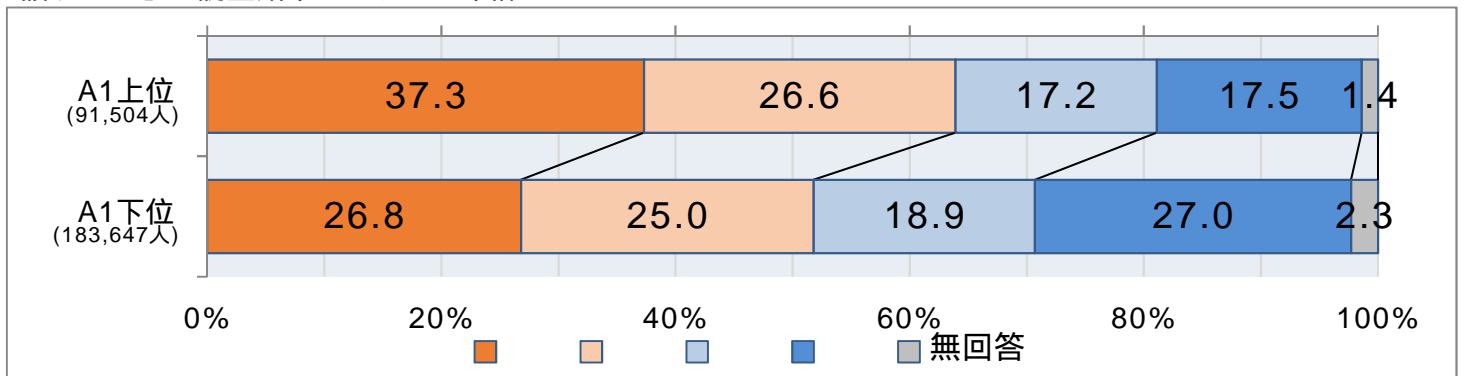
そう思っていた      どちらかといえば、そう思っていた  
 どちらかといえば、そう思っていなかった      そう思っていなかった



### 「聞くこと」の調査結果とのクロス集計



### 「話すこと」の調査結果とのクロス集計



## 7. 小学校外国語活動の経験

### 小学校での英語学習に対する生徒の意識

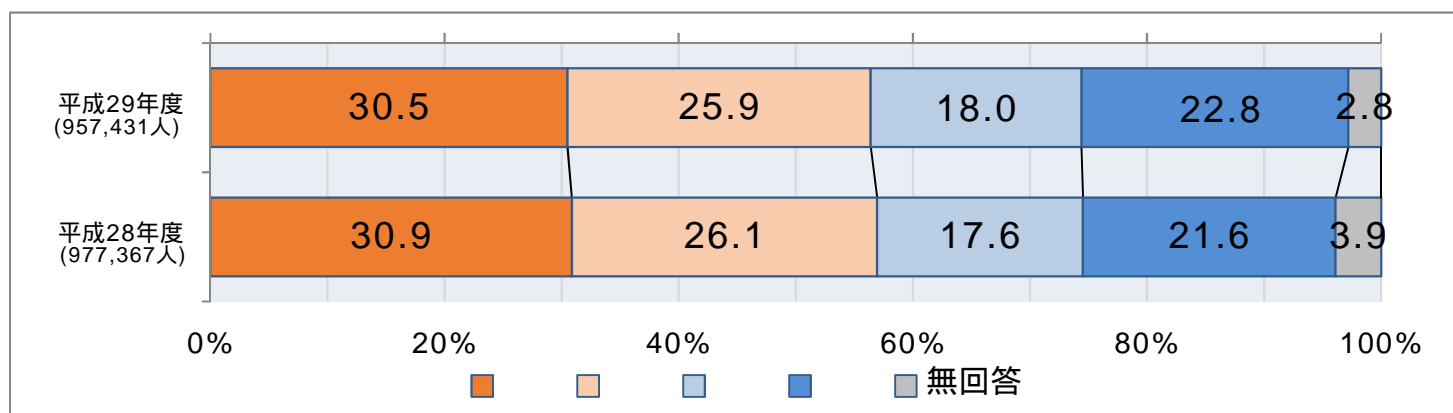
「小学生の時、英語の授業が好きだと思っていた」と回答した生徒（選択肢 合計）は56.4%で、対前年度0.6ポイント減少（平成28年度は57.0%）。

「聞くこと」「話すこと」の調査結果とのクロス集計を見ると、得点が高い方が「小学生の時、英語の授業が好きだと思っていた」と回答する生徒の割合が高い。

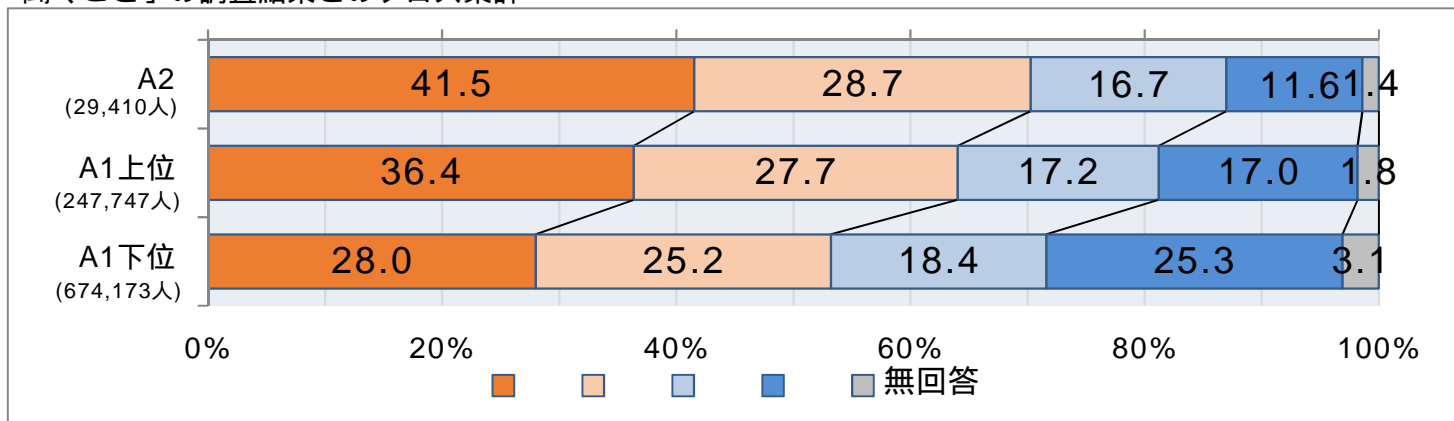
クロス集計については、4技能のうち「聞くこと」「話すこと」を取り上げているが、他の技能についても同様の傾向が見られる。

問 小学生の時、英語の授業は好きでしたか。最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

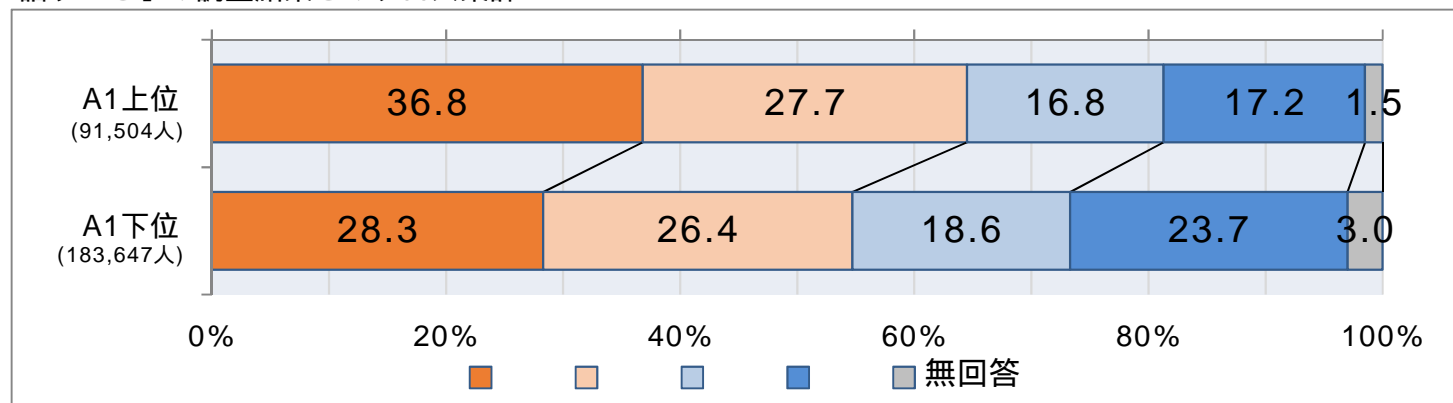
そう思っていた どちらかといえば、そう思っていた  
 どちらかといえば、そう思っていなかった そう思っていなかった



### 「聞くこと」の調査結果とのクロス集計



### 「話すこと」の調査結果とのクロス集計





## 7. 小学校外国語活動の経験

### 小学校での英語学習に対する生徒の意識

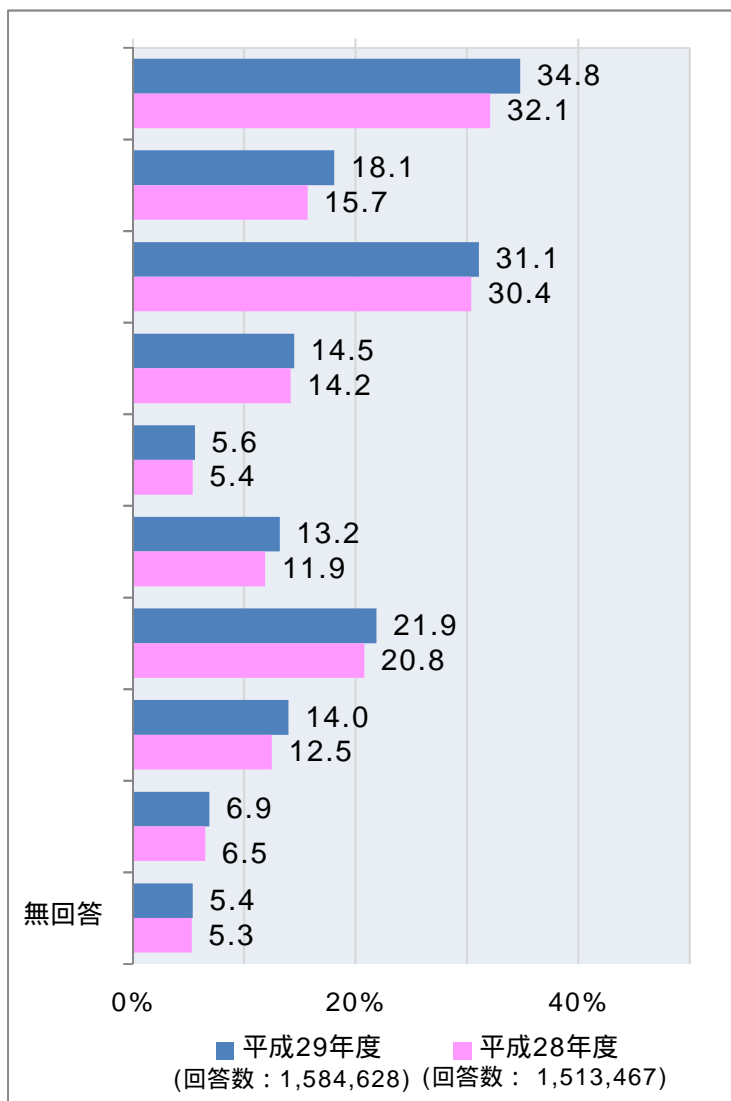
小学生の時、英語の授業の中で楽しいと思ったこととして、「外国のことについて学ぶこと」（選択肢 ）と回答した生徒が34.8%、「英語で友達と会話をする事」（選択肢 ）と回答した生徒が31.1%と多い。

「話すこと」の調査結果とのクロス集計を見ると、得点が高い方が「英語で外国人の先生と会話すること」（選択肢 ）と回答する生徒の割合が高い。

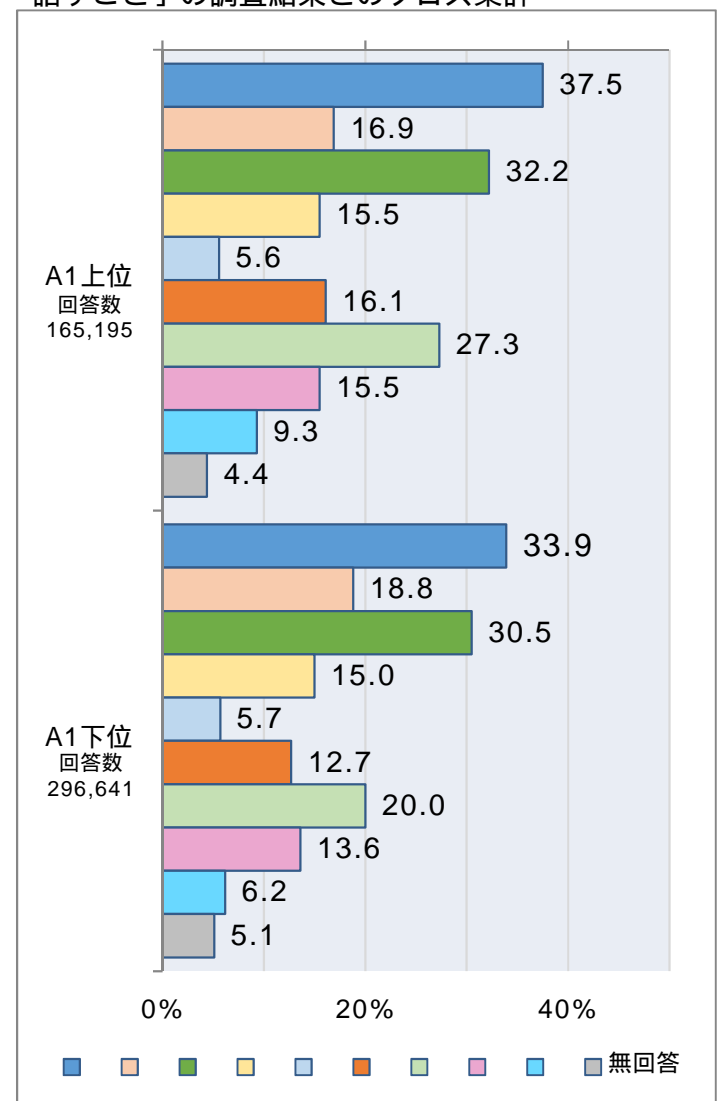
クロス集計については、4技能のうち「話すこと」を取り上げているが、他の技能についても同様の傾向が見られる。

問 小学生の時、英語の授業の中で楽しいと思うことはどのようなことでしたか  
（3つまで選択可）。

外国のことについて学ぶこと 日本語と英語の違いを知ること  
英語で友達と会話をする事 英語の発音を練習すること  
英語で友達や先生などの人の意見を聞くこと 英語の文字や単語を読むこと  
英語で外国人の先生と会話すること 英語の文字や単語を書くこと  
英語で自分のことや意見をいうこと



「話すこと」の調査結果とのクロス集計



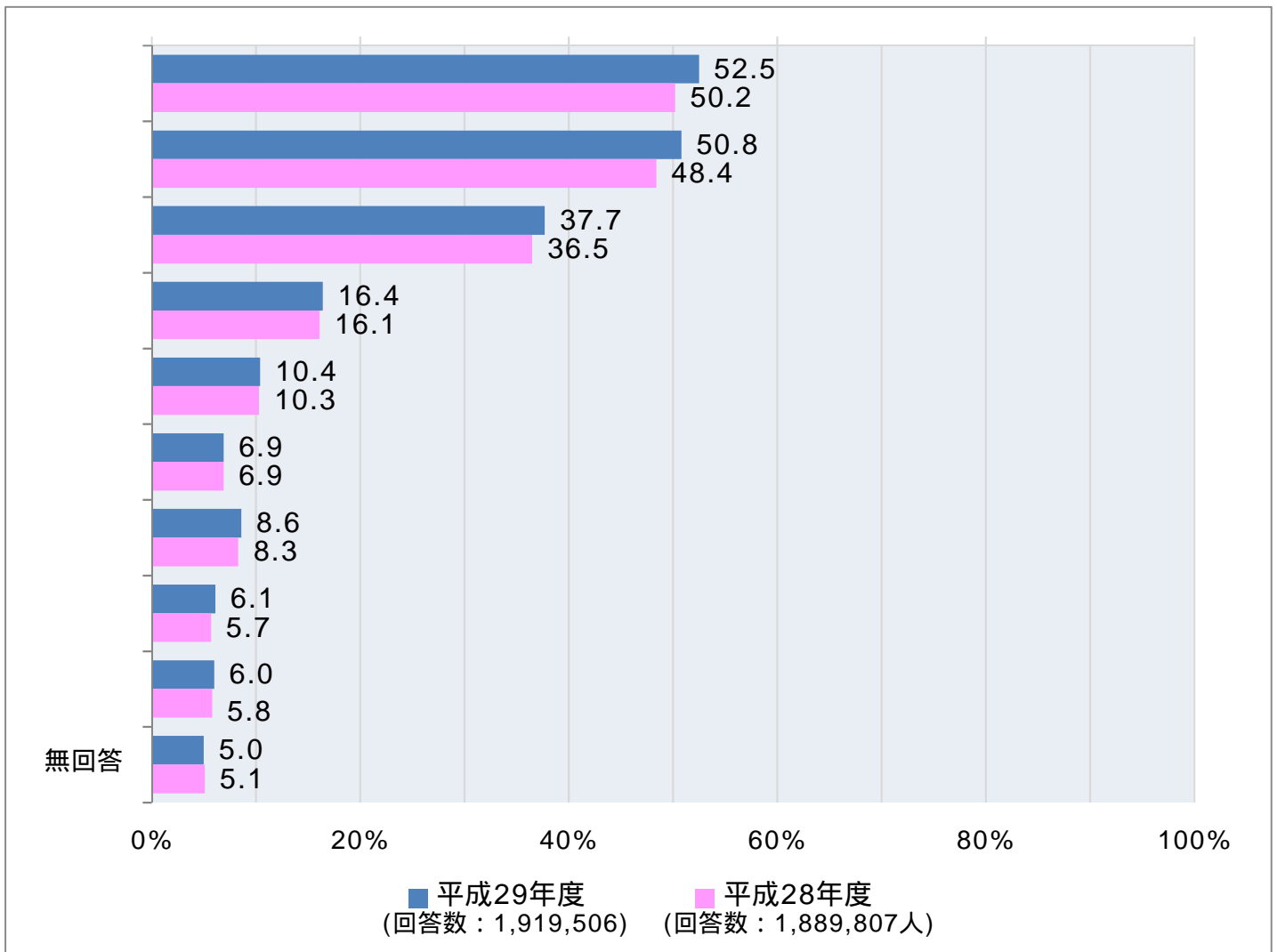
## 7. 小学校外国語活動の経験

### 小学校での英語学習に対する生徒の意識

小学校で学んだことの中で中学校の英語の授業で役に立ったこととして、「アルファベットを読むこと」（選択肢）と回答した生徒が52.5%、「アルファベットを書くこと」（選択肢）と回答した生徒が50.8%、「英語で簡単な会話をする」（選択肢）と回答した生徒が37.7%と多い。

問 小学校の英語の授業で学んでことの中で、中学校の英語の授業で役に立ったことはありますか（3つまで選択可）。

- アルファベットを読むこと    アルファベットを書くこと
- 英語で簡単な会話をする    英語の発音を練習すること
- 友だちや先生などが英語で話しているのを聞くこと
- 日本語と英語の違いを知ること    外国のことについて学ぶこと
- 英語で自分のことや意見を言うこと    皆の前で英語で発表すること



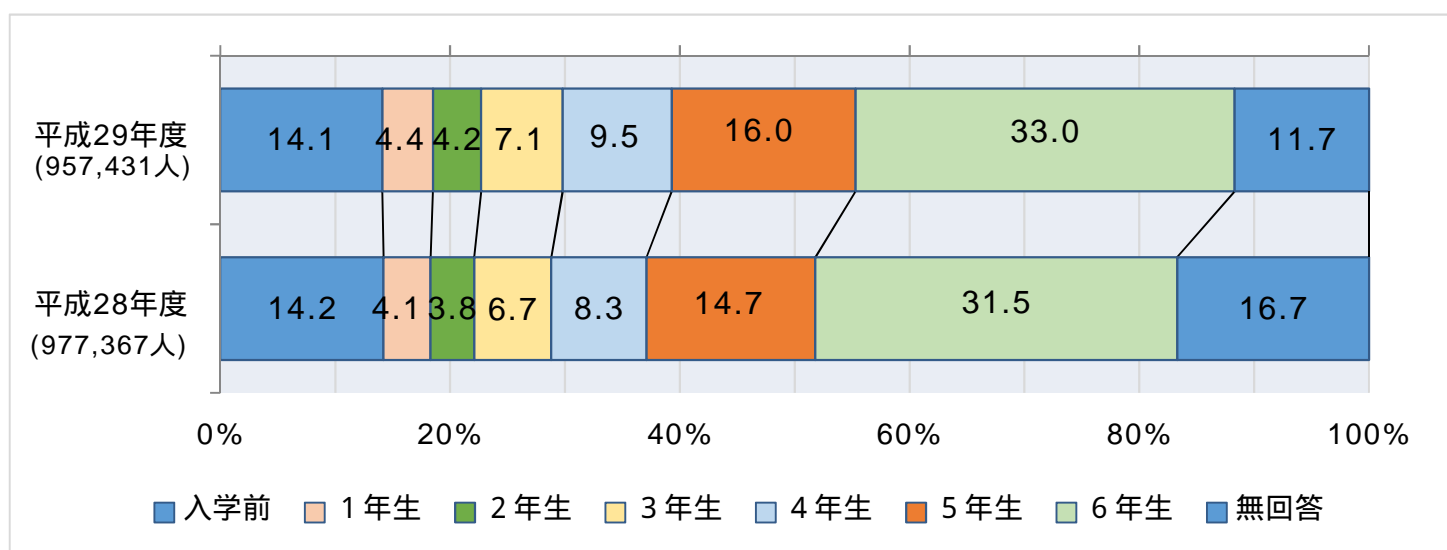
## 7. 小学校外国語活動の経験

### 学校以外における英語学習の開始時期

学校以外で英語の学習を開始した時期は、「小学校6年生」と回答した生徒が33.0%で最も多く、次いで「小学校5年生」と回答した生徒が16.0%だった。

問 あなたが学校以外で英語の学習を開始した時期はいつですか。  
最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

- ・ 小学校入学前    ・ 小学校1年生    ・ 小学校2年生    ・ 小学校3年生
- ・ 小学校4年生    ・ 小学校5年生    ・ 小学校6年生



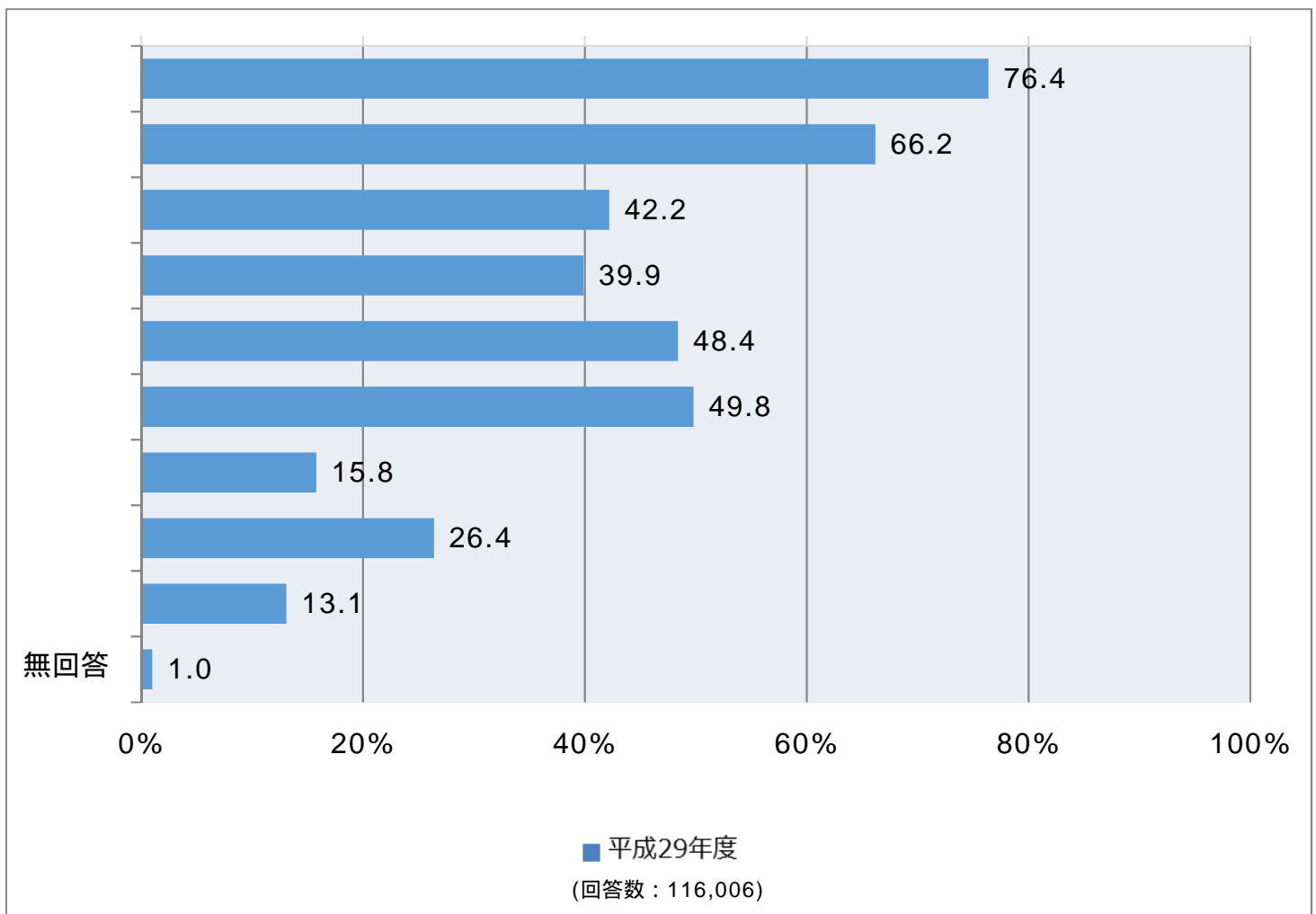
## 7. 小学校外国語活動の経験

### 小学校で外国語活動を経験した中学校の生徒の英語力

「英語の音声に慣れ親しんでいる」（選択肢 ）と回答した教員が76.4%で最も多く、次いで「英語で活動を行うことに慣れている」（選択肢 ）と回答した教員が66.2%だった。

問 外国語活動を経験した中学校の生徒の英語力について、  
具体的にどのような成果や変容がみられましたか（複数回答可）。

英語の音声に慣れ親しんでいる 英語で活動を行うことに慣れている  
 英語に対する抵抗感が少ない 英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする  
 英語を聞く力が高まっている 英語の基本的な表現に慣れ親しんでいる  
 分からない単語などがあっても、臆せず聞き続けたり聞き返したりしている  
 友達の前で、英語で発表することなどに、慣れている（生徒同士の望ましい人間関係が醸成されている）  
 英語を話す力が高まっている



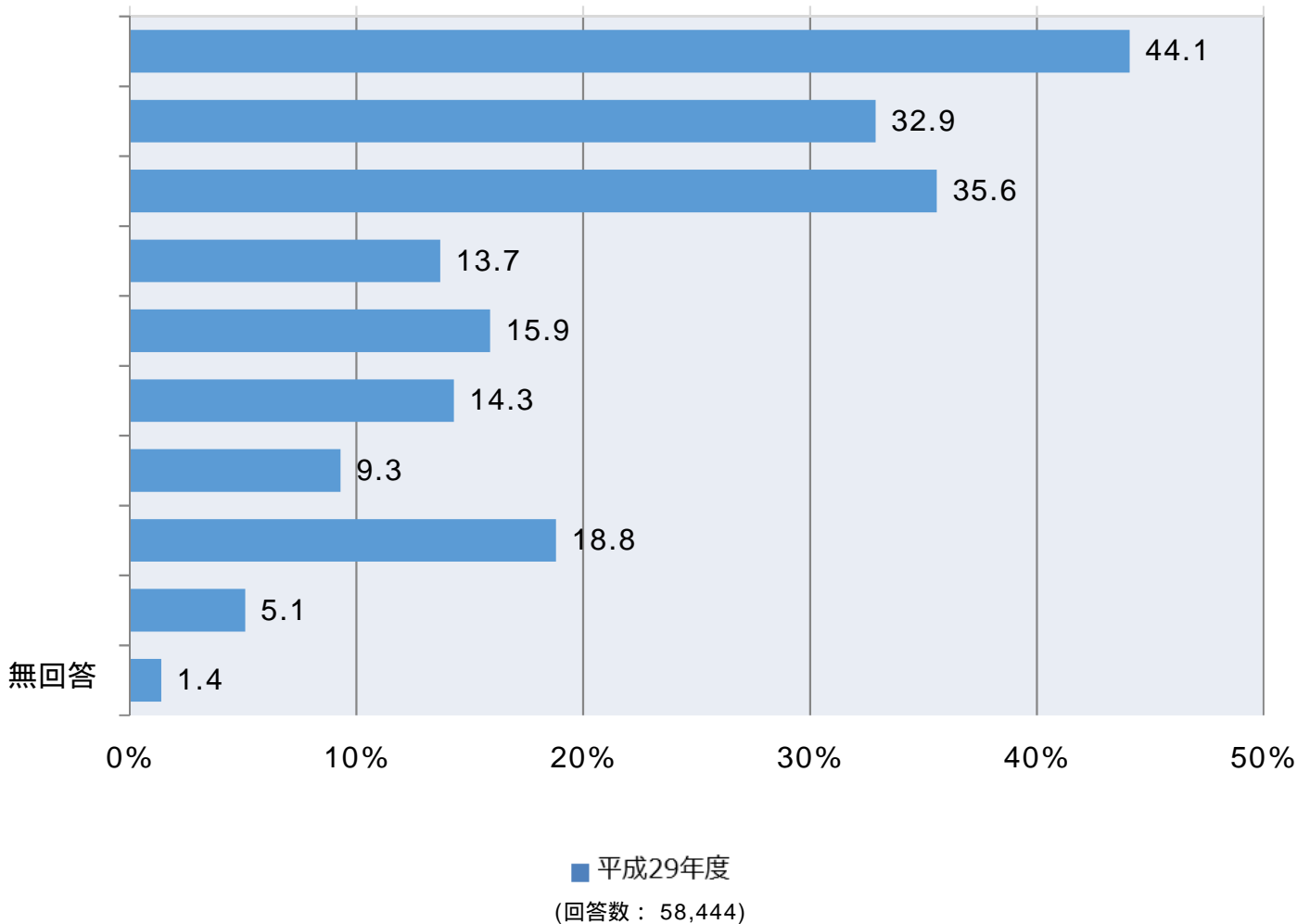
## 7. 小学校外国語活動の経験

### 中学校の外国語担当教員の変化

小学校での外国語活動が行われたことで、「外国語活動を踏まえた指導の工夫がみられるようになった」（選択肢 ）と回答した教員が44.1%と最も多く、次いで「教員自身の、授業で英語を使うことに対する意識が一層高まった」（選択肢 ）と回答した教員が35.6%だった。

問 小学校で外国語活動が行われたことで、  
貴校の外国語担当教員に変化は見られましたか（複数回答可）。

- 外国語活動を踏まえた指導の工夫がみられるようになった
- 小中連携に関する取組が一層促進された
- 教員自身の、授業で英語を使うことに対する意識が一層高まった
- 外国語科の目標や内容の共通理解が一層深まった
- 指導計画や教材などについての共通理解が一層進んだ 生徒理解が深まった
- 外国語科全体による共通の指導体制の構築が一層進んだ 特に変化は見られなかった
- その他



## 8 . 調査問題の構成

- 「読むこと」：多肢選択式・3パート構成・28問（約32分）
- 「聞くこと」：多肢選択式・4パート構成・32問（約18分）
- 「書くこと」：自由記述式・2パート構成・2問（約25分）
- 「話すこと」：口述式・3パート構成・5問（約10分） 英語担当教員等が面接を実施

	Reading 「読むこと」	Listening 「聞くこと」	Writing 「書くこと」	Speaking 「話すこと」
測定する力	<b>実際の言語使用場面を前提とした英語コミュニケーション能力</b> （「知識・技能」の習得だけでなく、それらを活用して思考・判断・表現する総合的な力）			
問題構成	語彙・語法問題 10問 （短文の中で、文脈を理解するとともに、文法的に、また語彙選択上最も適切な表現を正確に判断できる力） A1相当	イラスト説明問題 8問 （視覚的情報をもとに、ある状況や場面、事物を描写説明した短文レベルの英文を正しく聞き分ける力） A1相当	空所補充問題 1問 （対話中の空所に当てはまる応答を文脈から判断し、適切な英文を用いて表現する力） A1～A2相当	音読問題 1問 （適切な発音、リズム、イントネーション、速度、声の大きさで話す力） A1相当
	情報検索問題 8問 （与えられた英文の題材について、短時間で必要な情報を引き出す力） A2相当	会話応答問題 8問 （不意の問いかけに回答する適当な英文を素早く判断し、処理できる力） A1相当	意見展開問題 1問 （身近な事柄について、与えられたテーマに対して個人の経験や他の事例をもとに意見と理由を述べる力） A1～A2相当	質疑応答問題 3問 （試験官からの問いかけに応じて生徒自身の経験や考えを適切に述べる力） A1～A2相当
	概要把握問題 2問 （与えられた英文の題材について、短時間で全体の概要を理解する力） A2相当	課題解決問題 8問 （日本語で事前に与えられる状況設定及び視覚情報（イラスト）と音声情報から、その場で求められている課題（タスク）を解決する力） A2相当		意見陳述問題 1問 （与えられた話題について、事実と自分の意見とを区別して、論理的に説明する力） A2相当
	要点理解問題 8問 （まとまった量の英文について、英文の主旨に関する内容や詳細部分の要点を理解し、必要な情報を読み取る力） A2相当	要点理解問題 8問 （英文音声の中から、事前に与えられる英語の質問に答えるために必要な情報を選択し、求められている解答を導くために適切な判断をする力） A2相当		

「読むこと」の情報検索問題と概要把握問題は同一パート



【問題の特徴】

~ Reading Part A ~

R

Part A  
語彙・語法問題

短文中の空所に適切な語を補う問題で、文脈を理解するとともに、文法的に最も適切な表現を判断する問題。

CEFR: A1

5 Cindy's dad cut her hair too short. She doesn't like it, so she's wearing \_\_\_\_\_.

- [A] a cap
- [B] a jacket
- [C] a skirt
- [D] socks

正答

A

解答類型と反応率

選択肢	A1下位レベル反応率	A1上位レベル反応率
A (正解)	37.3%	88.3%
B	25.6%	6.9%
C	18.2%	2.5%
D	15.5%	2.2%
無解答	3.4%	0.1%

A1下位レベルの正解選択率は37.3%。一方、A1上位レベルは88.3%と51.0ポイントの差があった。  
A1下位レベルの誤答は、選択肢 [ B ] が最も多く25.6%であった。

~ Reading Part B ~

R

Part B  
情報検索問題

与えられた英文の題材から、短時間で必要な情報を引き出す問題。

CEFR: A2

中学校学習指導要領 外国語より | 「読むこと」(ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

**Mr. Green's Going Away Party**  
Mr. Green is leaving this school next month.  
He'll be on vacation from January 18th to the 26th. His last day is the 29th.  
There are no club activities after school on the 27th, so there will be a party for him then. It will be in the gym.

**Message book for Mr. Green**  
Write a message to Mr. Green!  
There are pieces of paper in two different colors and two different shapes.  
Use a blue piece of paper if you are in Class 101 or Class 103.  
Use a black piece of paper if you are in Class 102 or Class 104.  
Use the right shape of paper for your class:

Class 101 and Class 102	Star
Class 103 and Class 104	Triangle

Write a message on it and give it to your teacher.  
Your teachers will put the messages to Mr. Green into a book.

18 You're in Class 103. Where should you write your message?

- [A] On a black star.
- [B] On a black triangle.
- [C] On a blue star.
- [D] On a blue triangle.

正答

D

解答類型と反応率

選択肢	A1下位レベル反応率	A1上位レベル反応率
A	10.4%	1.0%
B	25.0%	10.6%
C	22.6%	7.5%
D (正解)	40.7%	80.8%
無解答	1.3%	0.1%

A1下位レベルの正解選択率は40.7%。一方、A1上位レベルは80.8%と40.1ポイントの差があった。  
A1下位レベルの誤答は、選択肢 [ B ] が最も多く25.0%であった。

R

Part C  
要点理解問題

与えられた英文の題材について、概要や要点を読み取る力を測定する問題。

CEFR: A2

中学校学習指導要領 外国語より | 「読むこと」(ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

Like many 14-year-old boys, Tom loved parties. The school year was ending, so he asked his parents if he could have a house party with his friends. They said he could invite up to 20 friends, and they agreed to help by making the food.

The party was on a warm afternoon, so everyone ate around Tom's pool while Tom's father handed out drinks. Then it began to rain hard! Tom's friends ran to the pool house. Tom's father tried to cover up the food. Tom was sad. He thought that people would start leaving.

Then, everyone smiled from the pool house because they could see Tom's father's stomach through his white T-shirt that had become covered in rain. Seeing their smiles, Tom's father then ate some of the hard cake he had made. "It's even better now with more water!" he said, as he stood in the rain. Everyone laughed.

Tom's father showed them that they could enjoy the party outside, no matter if it was rainy or sunny. They decided not to go into the house, and started jumping into the pool. It didn't matter, since they were already covered with water. It was the best party ever!

24 What did Tom and his friends learn from their experience?

- [A] Children should let their parents plan activities for them.
- [B] Families who don't plan well will never be happy.
- [C] Friends don't always have to do the same thing.
- [D] People can enjoy themselves even if problems happen.

正答

D

解答類型と反応率

選択肢	A1下位レベル反応率	A1上位レベル反応率
A	20.4%	10.8%
B	24.6%	17.7%
C	26.5%	17.5%
D (正解)	25.3%	52.5%
無解答	3.2%	1.5%

A1下位レベルの正解選択率は25.3%。一方、A1上位レベルは52.5%と27.2ポイントの差があった。A1下位レベルの誤答は、選択肢 [ A ] が20.4%、[ B ] 24.6%、[ C ] 26.5%とそれぞれに分散している。

【問題の特徴】

~Listening Part A~

L

Part A  
イラスト説明問題

イラストで与えられた視覚的情報をもとに、短文レベルの英文を聞き分ける力を測定する問題。

CEFR: A1

中学校学習指導要領 外国語より | 「聞くこと」(イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。

2



- [A]
- [B]
- [C]

<スクリプト>

- [A] A boy is borrowing a book at a library.
- [B] A boy is looking at the front cover of a book.
- [C] A boy is reading a book on the floor.

正答

C

解答類型と反応率

選択肢	A1下位レベル反応率	A1上位レベル反応率
A	19.6%	2.6%
B	19.3%	6.7%
C (正解)	60.1%	90.7%
無解答	1.0%	0.2%

A1下位レベルの正解選択率は60.1%。一方、A1上位レベルは90.7%と30.6ポイントの差があった。

A1下位レベルの誤答は、選択肢[A]と[B]に分散され、それぞれ19.6%と19.3%であった。

~Listening Part B~

L

Part B  
会話応答問題

不意の問いかけに応答する適当な英文を素早く判断する問題。

CEFR: A1

中学校学習指導要領 外国語より | 「聞くこと」(イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。

12

- [A]
- [B]
- [C]

<スクリプト>

- What will your family do for vacation?
- [A] Our vacation doesn't finish until next week.
  - [B] They don't have any friends.
  - [C] We don't have any plans yet.

正答

C

解答類型と反応率

選択肢	A1下位レベル反応率	A1上位レベル反応率
A	41.4%	23.5%
B	28.8%	11.6%
C (正解)	28.3%	64.8%
無解答	2.1%	0.2%

A1下位レベルの正解選択率は28.3%。一方、A1上位レベルは64.8%と36.5ポイントの差があった。

A1下位レベルの誤答は、選択肢[A]が最も多く41.4%であり、正解選択率より多かった。

【問題の特徴】

~ Listening Part C ~

L

Part C  
課題解決問題

日本語で事前に与えられる状況設定およびイラストと放送される英文から、その場で求められているタスク（課題）を解決する力を測定する問題。

CEFR: A2

中学校学習指導要領 外国語より | 「聞くこと」(オ) まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。

あなたはカナダに留学中です。ホストブラザーのトニーを幼稚園に連れていく準備を手伝ってほしいとホストマザーに頼られました。まず、ホストマザーからあなたに話しかけます。



28 あなたはトニーのバッグに荷を入れるか。

- [A]
- [B]
- [C]
- [D]

< スクリプト >

F: Please put Tony's cap into his bag. It's there, under his jacket.

M: Sure. What about his pencils?

F: I put those and his books in already.

正答

A

解答類型と反応率

選択肢	A1下位レベル反応率	A1上位レベル反応率
A (正解)	17.9%	62.4%
B	33.3%	16.4%
C	31.3%	14.9%
D	16.3%	6.1%
無解答	1.3%	0.2%

A1下位レベルの正解選択率は17.9%。一方、A1上位レベルは62.4%と44.5ポイントの差があった。

A1下位レベルの誤答は、選択肢 [ B ] と [ C ] に分散し、それぞれ33.3%と31.3%であった。

~ Listening Part D ~

L

Part D  
要点理解問題

一定の長さの英文音声の中から、事前に与えられる英語の質問に答えるために必要な情報を選択し、適切な判断をする問題。

CEFR: A2

中学校学習指導要領 外国語より | 「聞くこと」(オ) まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。

28 Where are the children's jeans?

- [A] On the first floor.
- [B] On the second floor.
- [C] On the third floor.
- [D] On the fourth floor.

< スクリプト >

F: Excuse me, where can I find jeans?

M: Ladies' jeans are on the second floor, and men's are on the third.

F: I'm looking for some for my children.

M: Oh, you'll find those on the fourth floor.

正答

D

解答類型と反応率

選択肢	A1下位レベル反応率	A1上位レベル反応率
A	13.1%	2.5%
B	20.2%	7.4%
C	12.0%	2.2%
D (正解)	53.3%	87.8%
無解答	1.4%	0.1%

A1下位レベルの正解選択率は53.3%。一方、A1上位レベルは87.8%と34.5ポイントの差があった。

A1下位レベルの誤答は、選択肢 [ B ] が最も多く20.2%であった。

【問題の特徴】

~ Writing ~

W

空所補充問題

対話文中の空所に当てはまる応答を前後の文脈から判断し、適切な英語を用いて表現する力を測定する問題。

CEFR: A1~A2

中学校学習指導要領 外国語より | 「書くこと」(イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。

1. 次の対話文(1)、(2)の( )に合う適切な英文を作成し、自然な会話を完成させなさい。ただし、英文は主語と動詞を含んだ文で書きなさい。  
1.の時間は2問あわせて5分です。

(1) あなたは友達ともだちのMaryと洋服屋ようふくやさんで買い物かをしています。

You: That's a nice T-shirt.

Mary: You should try it on.

You: ( 1 )

Mary: Then you should try a larger size.

(2) あなたは教室きょうしつで友達ともだちのTomと話はなしています。

Tom: Let's go to see a soccer game tomorrow.

You: OK. Oh! ( 2 )

Tom: Maybe. You should take your umbrella.

You: OK, I will.

解答例

(1) It's too small.

(2) Will it rain tomorrow?

得点と割合

(1)	得点	A1下位レベル割合	A1上位レベル割合
	0	98.0%	51.8%
	1	2.0%	48.2%

(2)	得点	A1下位レベル割合	A1上位レベル割合
	0	92.9%	27.8%
	1	7.1%	72.2%

A1下位レベルの1点の割合は(1)が2.0%、(2)が7.1%であった。一方、A1上位レベルは(1)が48.2%、(2)が72.2%であり、それぞれ46.2ポイントと65.1ポイントの差があった。

【問題の特徴】

~ Writing ~

W

意見展開問題

与えられたテーマに対して、限られた時間の中で自分の意見や考えを説得力を持って書いて表現する力を測定する問題。

CEFR : A1 ~ A2

中学校学習指導要領 外国語より | 「書くこと」(オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。

あなたは授業中に、下記のテーマで英語の作文を提出することになりました。

作文のテーマ：

あなたが1日自由に過ごせるとしたら、何をしたいですか。1つ取り上げて、なぜそう思うか、その理由を書きなさい。



解答例

I would like to go shopping for pens and notebooks with my friends.

One reason is that getting new pens and notebooks makes me happy. My favorite color is blue, so I like to collect blue things.

Another reason is that I can spend time with my friends. We can talk about colors, prices and so on while we look for things. I can find out more about my friends.

That's why I like to go shopping on my days off.

得点と割合

項目：「内容」

意見

得点	A1下位レベル 割合	A1上位レベル 割合
0	44.7%	1.1%
1	55.3%	98.9%

理由

得点	A1下位レベル 割合	A1上位レベル 割合
0	47.4%	0.2%
1	52.6%	99.8%

項目：「表現」

語彙

得点	割合
0	30.1%
1	63.5%
2	6.4%
3	0.0%
4	0.0%

文法

得点	割合
0	41.0%
1	56.1%
2	2.9%
3	0.0%
4	0.0%

項目：「構成」

得点	割合
0	51.4%
1	44.2%
2	4.4%
3	0.0%
4	0.0%

A1下位レベルでは、意見を書けた生徒は55.3%、理由を書けた生徒は52.6%であった。  
A1上位レベルでは、意見・理由ともに98%以上の生徒が書けていた。  
各項目の中では、「構成」の得点が他より低い結果となった。



## 【問題の特徴】

### ~Speaking Part A~

S

Part A  
音読問題

適切な発音、リズム、イントネーション、速度、声の大きさを英語を話すことができるかを測定する問題。

CEFR: A1

中学校学習指導要領 外国語より | 「話すこと」 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音することができる。

(試験官)

*Please read the passage silently for 30 seconds. Now, please read it aloud.*

(音読用パッセージ)

I got my first bicycle when I was five. I couldn't ride it at first. I practiced for two weeks, and then I finally did it. I was so happy! How long did it take you to learn to ride a bike?

### 得点と割合

観点1: 「適切な発音、リズム、イントネーション、速度、声の大きさを話すことができている」

得点	A1下位レベル 割合	A1上位レベル 割合
0	16.2%	0.0%
1	60.5%	13.9%
2	23.3%	86.0%

A1下位レベルの60.5%が1点であった。これは、最後まで読めてはいるが、正しく発音できない単語がいくつかあったり、イントネーションやリズムが適切ではないことを意味する。

S

Part B  
質疑応答問題

個人の経験や考えをもとに、もしくは聞いたり読んだりしたことをもとに、質問に対して即座にかつ適切に回答することができるかを問う問題。

CEFR: A1~A2

中学校学習指導要領 外国語より | 「話すこと」 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えることができる。 / 「話すこと」 聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすることができる。

Question No.1

(試験官) *Now let's start Part B. I'm going to ask you some questions. Are you ready?*

*OK, let's begin. Please look at Picture A on page 5. What is the girl doing?*

Picture A



Question No.2

(試験官) *Please look at Picture B. What is the man doing?*

Picture B



Question No.3

(試験官) *Which do you like better, watching movies at home or watching movies at a theater, and why?*

解答例

**Question No.1:**

She is taking a picture (of a mountain).

**Question No.2:**

He is putting a ball into a box.

**Question No.3:**

- I like watching movies at a theater more than at home.
- I like to see them on a big screen with good sound.

得点と割合

観点2：「相手の発話に対応した適切な内容のやりとりとなっている」

得点	A1下位レベル 割合	A1上位レベル 割合
0	22.8%	0.0%
1	24.8%	0.7%
2	33.4%	17.1%
3	19.0%	82.3%

観点3：「適切な文法や表現を用いて話せている」

得点	A1下位レベル 割合	A1上位レベル 割合
0	26.0%	0.2%
1	45.4%	2.6%
2	26.6%	53.1%
3	2.0%	44.1%

観点2において、A1下位レベルの生徒の0点、1点の割合はそれぞれ22.8%、24.8%で、これはQ1~Q3のうち応答できているのは0問~1問を意味する。

観点3において、A1下位レベルの生徒の0点、1点の割合はそれぞれ26.0%、45.4%で、これは使える語彙・表現・文法が限定的だったり、誤りが繰り返されていたりすることを意味する。

【問題の特徴】

~Speaking Part C~

S

Part C  
意見陳述問題

与えられた話題について、個人の考えや経験などに基づいて自分の意見とその理由を述べる力を測定する問題。

CEFR: A2

中学校学習指導要領 外国語より | 「話すこと」 つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けることができる。 / 「話すこと」 与えられたテーマについて簡単なスピーチをすることができる。

(試験官)

*How do you make friends when you join a new class? Why do you think it's a good way?*

解答例

First, I try to talk to other students about their hobbies. Sometimes they have the same hobbies, so we talk about that. Sometimes they have other hobbies, but that's OK. It's interesting finding out new things! It's a good way to make friends because talking about your hobbies makes you feel happy and relaxed.

得点と割合

観点4：「与えられた質問に対応した適切な内容となっており、論理展開がわかりやすい構成になっている」

観点5：「適切な文法や表現を用いて話せている」

得点	A1下位レベル 割合	A1上位レベル 割合
0	60.7%	0.2%
1	31.1%	9.4%
2	7.9%	54.9%
3	0.3%	35.5%

得点	A1下位レベル 割合	A1上位レベル 割合
0	61.2%	0.1%
1	32.5%	14.2%
2	6.1%	60.9%
3	0.2%	24.9%

A1下位レベルの6割以上が観点4、5において0点であり、これは、与えられた質問に対応した内容になっていない、使える語彙・文法や表現が限定的、あるいは自分の言葉で話せた内容が十数語に満たないことを意味している。

(別紙)

外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠について

熟練した言語使用者	C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。
自立した言語使用者	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
	B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
基礎段階の言語使用者	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。

(出典) プリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ大学英語検定機構

各試験団体のデータによるCEFRとの対照表

CEFR	Cambridge English	英検	GTEC	GTEC CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEFL Junior Comprehensive 2016年12月末 販売終了	TOEIC L&R TOEIC S&W
C2	CPE (200+)				8.5   9.0					
C1	CAE (180~199)	1級 (2630~3400)		1370   1400	7.0   8.0	400	800	95   120		1305-1390 L&R 945~ S&W 360~
B2	FCE (160~179)	準1級 (2304~3000)	1190   1280	1160   1369	5.5   6.5	334   399	600   795	72   94	341   352	1095-1300 L&R 785~ S&W 310~
B1	PET (140~159)	2級 (1980~2600)	960   1189	880   1159	4.0   5.0	226   333	420   595	42   71	322   340	790-1090 L&R 550~ S&W 240~
A2	KET (120~139)	準2級 (1728~2400)	690   959	510   879	3.0	150   225	235   415		300   321	385-785 L&R 225~ S&W 160~
A1		3級-5級 (419-2200)	-689	-509	2.0					200-380 L&R 120~ S&W 80~

各資格・検定試験の得点とCEFRとの関連性について各試験団体が公表している結果をとりまとめたものです。英語力評価や大学入学者選抜における目安の一つとしてご参照下さい。

Cambridge English : ケンブリッジ大学英語検定機構  
[http://www.cambridgeenglish.org/jp/images/183107-page2\\_4\\_scale-scores.pdf](http://www.cambridgeenglish.org/jp/images/183107-page2_4_scale-scores.pdf)

英検 : 日本英語検定協会  
<http://www.eiken.or.jp/forteachers/data/cefr/>  
<https://www.eiken.or.jp/cse/>  
[https://www.eiken.or.jp/eiken/exam/eiken-cse\\_admission.html](https://www.eiken.or.jp/eiken/exam/eiken-cse_admission.html)

GTEC : 株式会社ベネッセコーポレーション  
 GTEC と CEFR レベル関連付け調査  
[http://cees.or.jp/pdf/reports/2017/GTEC-CEFR\\_Report.pdf](http://cees.or.jp/pdf/reports/2017/GTEC-CEFR_Report.pdf)

IELTS : プリティッシュ・カウンシル (および日本英語検定協会) 資料より

TEAP : 第1回 英語力の評価及び入試における外部試験活用に関する検討会 吉田研作教授資料より

TOEFL : 米国ETS  
<http://www.ets.org/Media/Research/pdf/RM-15-06.pdf?WT.ac=clkb>

TOEIC Tests : IIBC  
<http://www.iibc-global.org/toEIC/test/lr/about/result.html>  
 'L&R' または 'S&W' の記載が無い数値が4技能の合計点

(出典) 英語4技能試験情報サイト

# (別紙)

## CEFR / CEFR-J をもとにした本調査の測定範囲

### 調査結果について

本調査結果では、英語力の指標としてCEFRおよびCEFR-Jを用いた。CEFR-Jは、CEFRに準拠して基礎レベルをより詳細に枝分かれさせた日本人英語学習者向けの参照枠でCEFRの「A1」は、CEFR-Jでは「A1.1」「A1.2」「A1.3」に分割される。本調査のCEFR閾値は、「Pre A1」「A1.1」を「A1下位」、「A1.2」「A1.3」を「A1上位」とした。各レベルが表す英語力の目安は以下表の通りである。

CEFRレベル	Reading	Listening	Writing	Speaking (表現)	Speaking (やりとり)	測定範囲		
						高校	中学	
B2	筆者の姿勢や視点が出てくる現代の問題についての記事や報告が読める。現代文学の散文は読める。	長い会話や講義を理解することができる。また、もし話題がある程度身近な範囲であれば、議論の流れが複雑であっても理解できる。たいていのテレビのニュースや時事問題の番組も分かる。標準語の映画なら、大部分は理解できる。	興味関心のある分野内なら、幅広くいろいろな話題について、明瞭で詳細な説明文を書くことができる。エッセイやレポートで情報を伝え、一定の視点に対する支持や反対の理由を書くことができる。手紙の中で、事件や体験について自分にとっての意義を中心に書くことができる。	自分の興味関心のある分野に関連する限り、幅広い話題について、明瞭で詳細な説明をすることができる。時事問題について、いろいろな可能性の長所、短所を示して自己の見方を説明できる。	流暢に自然に会話を行うことができ、母語話者と普通にやり取りができる。身近なコンテキストの議論に積極的に参加し、自分の意見を説明し、弁明できる。			
B1	非常によく使われる日常言語や、自分の仕事関連の言葉で書かれたテキストなら理解できる。起こったこと、感情、希望が表現されている私信を理解できる。	仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、明瞭で標準的な話し方の会話なら要点を理解することができる。話し方が比較的ゆっくり、はっきりしているなら、時事問題や、個人的もしくは仕事上の話題についても、ラジオやテレビ番組の要点を理解することができる。	身近で個人的に関心のある話題について、つながりのあるテキストを書くことができる。私信で経験や印象を書くことができる。	簡単な方法で語句をつないで、自分の経験や出来事、夢や希望、野心を語るることができる。意見や計画に対する理由や説明を簡潔に示すことができる。物語を語ったり、本や映画のあらすじを話し、またそれに対する感想・考えを表現できる。	当該言語圏の旅行中に最も起こりやすいたいの状況に対処することができる。例えば、家族や趣味、仕事、旅行、最近の出来事など、日常生活に直接関係のあることや個人的な関心事について、準備なしで会話に入ることができる。			
A2	A2.2	簡単な英語で表現されれば、旅行ガイドブック、レシピなど実用的・具体的で内容が予想できるものから必要な情報を探すことができる。	スポーツ・料理などの一連の行動を、ゆっくりはっきりと指示されれば、指示通りに行動することができる。	身の回りの出来事や趣味、場所、仕事などについて、個人的経験や自分に直接必要のある領域での事柄であれば、簡単な描写ができる。	写真や絵、地図などの視覚的補助を利用しながら、一連の簡単な語句や文を使って、自分の毎日の生活に直接関連のあるトピック(自分のこと、学校のこと、地域のことなど)について、短いスピーチをすることができる。	簡単な英語で、意見や気持ちをやとりしたり、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を較べたりすることができる。		
	A2.1	簡単な語を用いて書かれた人物描写、場所の説明、日常生活や文化の紹介などの、説明文を理解することができる。	ゆっくりはっきりと放送されれば、公共の乗り物や駅や空港の短い簡潔なアナウンスを理解することができる。	日常的・個人的な内容であれば、招待状、私的な手紙、メモ、メッセージなどを簡単な英語で書くことができる。	一連の簡単な語句や文を使って、自分の趣味や特技に触れながら自己紹介をすることができる。	順序を表す表現であるfirst, then, nextなどのつなぎ言葉や「右に曲がって、」や「まっすぐ行って、」などの基本的な表現を使って、単純な道案内をすることができる。		
A1 上位	A1.3	簡単な語を用いて書かれた、スポーツ・音楽・旅行など個人的な興味のあるトピックに関する文章を、イラストや写真も参考にしながら理解することができる。	ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や自分の家族・学校・地域などの身の回りの事柄に関連した句や表現を理解することができる。	自分の経験について、辞書を用いて、短い文章を書くことができる。	前もって発話することを留意した上で、限られた身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な句を限られた構文に用い、複数の文で意見を言うことができる。	趣味、部活動などのなじみのあるトピックに関して、はっきりと話されれば、簡単な質疑応答をすることができる。		
	A1.2	簡単なポスターや招待状等の日常生活で使われる非常に短い簡単な文章を読み、理解することができる。	趣味やスポーツ、部活動などの身近なトピックに関する短い話を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。	簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと(好き嫌い、家族、学校生活など)について短い文章を書くことができる。	前もって発話することを留意した上で、限られた身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、簡単な意見を言うことができる。	基本的な語や言い回しを使って日常のやりとり(何ができるかできないかや色についてのやりとりなど)、において単純に応答することができる。		
A1 下位	A1.1	「駐車禁止」、「飲食禁止」等の日常生活で使われる非常に短い簡単な指示を読み、理解することができる。	当人に向かって、ゆっくりはっきりと話されれば、「立て」、「座れ」、「止まれ」といった短い簡単な指示を理解することができる。	住所・氏名・職業などの項目がある表を埋めることができる。	基礎的な語句、定型表現を用いて、限られた個人情報(家族や趣味など)を伝えることができる。	なじみのある定型表現を使って、時間・日にち・場所について質問したり、質問に答えたりすることができる。		
	Pre.A1	口頭活動で既に慣れ親しんだ絵本の中の単語を見つけることができる。	ゆっくりはっきりと話されれば、日常の身近な単語を聞き取ることができる。	アルファベットの大文字・小文字、単語のつづりをブロック体で書くことができる。	簡単な語や基礎的な句を用いて、自分についてのごく限られた情報(名前、年齢など)を伝えることができる。	基礎的な語句を使って、「助けて!」や「〜が欲しい!」などのインプットの要求を伝えることができる。また、必要があれば、欲しいものを指さしながら自分の意思を伝えることができる。		

(出典)「CAN-DOリスト作成・活用 英語到達度指標CEFR-Jガイドブック」(2013)、投野由紀夫(編)、大修館書店  
 (出典) Council of Europe (2008)「外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠」、吉島茂、大橋理枝(訳、編)、朝日出版社  
 上記出典をもとに、「B2」「B1」は「CEFR」、「A2」「A1」は「CEFR-J」のCAN-DO文言をもとに作成